

事業年度	平成29年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	住改工 - 2

工事名 可児市市営東野住宅K棟改修工事

注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。
積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市

建設部

施設住宅課

工事番号	住改工 - 2	工事箇所	可児市 川合 地内	施設名	市営東野住宅
工事名	可児市市営東野住宅K棟改修工事				
理 由			工 事 概 要		
<p>当該住宅は、可児市公営住宅長寿命化計画（平成22年3月策定）に基づき老朽化した住宅を改善し良好なストック住宅として活用できるように改修工事（居住性向上型・福祉対応型・長寿命化型）を行う。</p>			<p>改修建築工事 一式</p> <p>・長屋建住宅(PC/1'ネル造、平屋建て、床面積:157.80㎡) × 1棟(4戸)</p> <p>改修電気設備工事 一式</p> <p>改修機械設備工事 一式</p>		

金 額	円	内消費税相当額	円
-----	---	---------	---

特記仕様書

1. 一般事項

- (1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。
- (2) 請負業者は、本工事が「可児市工物品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。
- (3) 受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報システム(コリンズ)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。
- (4) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿(指示、協議、承諾は除く)、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。
- (5) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年法律第51条)」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付建設省経機発第249号、最終改定平成22年3月18日付け国総施第291号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日付け国総施第215号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用しなければならない。

機 種	備 考
<p>一般工事中建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックホウ ・トラックシャベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット <p>(以下に示す基礎工事中機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの:油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローラー類 (ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ) ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。</p>

・オフロード法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車確認証の交付を受けているもの。
・排出ガス対策型建設機械として指定をうけたもの。

(6) 本工事、および可児市が発注する他の2件の工事については、発注者が施工管理上支障ないと認めた場合に限り現場代理人の兼務を認める。また本工事と他の2件の工事の請負代金の合計は2500万円以内とする。なお、受注により現場代理人が兼務となった他の工事の監督員に現場代理人兼務届を提出しなければならない。

2. 産業廃棄物の適正処理について

(1) 請負者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。

(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が100m³未満の場合はこの限りではない。また請負者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

3. 使用材料

(1) アスファルト再生合材について

本工事で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン(可児市)」によること。

(2) コンクリート二次製品について

本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。

(3) 生コンクリートについて

本工事に使用する生コンクリート(均しコンクリートを除く)については、水セメント比60%以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

4. 工事施工について

(1) 契約書18条第1項第1号から5号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。

(2) 請負者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないように努めること。

(3) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。

(4) 工事着手前に、可児市基準点(世界測地系)を用い、境界(座標)を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。

(5) 施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。

(6) 必要に応じ交通整理員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

5. 工事保険について

本工事において、発注者、請負者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。

6. ワンデーレスポンスの取組について

(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。

「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。

(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

9. その他

工事完成時に設備機器等取扱い説明書及び保証書を5部(各住戸分+市の控え分)ファイルに整理し監督員に提出すること。

アスベスト成形板の除去について、石綿予防規則や廃棄物処理法等を遵守し、適切に解体すること。

その他図面特記仕様書による。

記号	工事名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	可児市市営東野住宅K棟改修工事						
A	建築工事		1.0	式			
E	電気設備工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
	直接工事費 計		1.0	式			
	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費 計						
	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
	消費税相当額		1.0	式			
	総 合 計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A	建築工事						
A-1	直接仮設工事		1	式			
A-2	基礎・土間コンクリート工事		1	式			
A-3	木工事		1	式			
A-4	パネル工事		1	式			
A-5	内装工事		1	式			
A-6	断熱工事		1	式			
A-7	屋根・樋工事		1	式			
A-8	木製建具工事		1	式			
A-9	鋼製建具工事		1	式			
A-10	ガラス工事		1	式			
A-11	塗装・防水工事		1	式			
A-12	ユニットバス工事		1	式			
A-13	雑工事		1	式			
A-14	外構工事		1	式			
A-15	解体工事		1	式			
	計						

	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A-2	基礎・土間コンクリート工事						
	テラス基礎根切	人力	1.2	m3			
	既設浴室土間下土すきとり	人力	1.8	m3			
	テラス基礎・土間埋戻し	人力	0.7	m3			
	既設便槽解体部分埋戻し	人力 根切・すきとり土使用	1.9	m3			
	既設束ブロック撤去部分埋戻し	排水埋設管根切土使用	2.3	m3			
	碎石敷き	基礎下 再生碎石t100	0.1	m3			
	〃	土間下 再生碎石t60～100	10.9	m3			
	防湿シート	ポリエチレンフィルムt0.15	158	m ²			
	基礎コンクリート	テラス基礎 Fc=18N	0.2	m ²			
	土間コンクリート	ポーチ・玄関・床下 Fc=18N	10.5	m ²			
	同上打設手間		1	式			
	同上ポンプ圧送		1	式			
	土間溶接鉄筋	SD295A D10@150	12.2	m ²			
	布基礎アンカー(金属製拡張式)	D10 L=450	88	本			
	土間左官	コンクリート木こて押え	159	m ²			
	〃	コンクリート金こて仕上	10.8	m ²			
	〃	モルタル金こて仕上	9.0	m ²			

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A-3	木工事						
	上り框	夕毛積層材 75×72	7.9	m			
	木見切(玄関土間)	夕毛材 35×72	12.4	m			
	押入前掛	米母上小節 30×80	18.8	m			
	押入後掛	米母上小節 20×50	18.8	m			
	雑巾摺	米母上小節 10×20	57.2	m			
	押入側受	米母上小節 15×35	9.4	m			
	隅柱(押入・物入)	米母上小節 15×15	37.6	m			
	廻り縁(押入・物入)	米母上小節 10×30	39.1	m			
	AW-1 額縁	米母上小節 上:25×95、縦:25×95、下:25×95	4	箇所			
	AW-2 額縁	米母上小節 上:25×95、縦:25×95、下:25×95	4	箇所			
	AW-4 額縁	米母上小節(下:米ヒバ) 上:25×95、縦:25×95、下:35×95	8	箇所			
	SD-1 額縁	米母上小節 上:25×95、縦:25×95	4	箇所			
	WD-1 枠	米母上小節(敷居なし) 鴨居:35×95、縦枠:25×95.55.45	4	箇所			
	WD-2 枠	米母上小節(敷居なし) 鴨居:35×95、縦枠:25×95.55.45	4	箇所			
	WD-3 枠	米母上小節(敷居なし) 鴨居:35×95、縦枠:25×95.55.45	4	箇所			
	WD-4 枠	米母上小節(敷居なし) 鴨居:35×95、縦枠:25×95.55.45	4	箇所			
	WD-5 枠	米母上小節(敷居なし) 上:35×160、縦:25×160.55.110	4	箇所			

名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
WD-6 枠	米母上小節(敷居なし) 鴨居:35×95、縦枠:25×95	4	箇所			
WD-7 枠	米母上小節(敷居なし) 鴨居:35×95、縦枠:25×95	4	箇所			
浴室 額縁	米ヒバ 上:25×70、縦枠:25×70、下:35×70	4	箇所			
床フローリング合板	オーク	101.0	m ²			
床ラワン合板	t12.0 耐水合板	16.4	m ²			
〃	t12.0	11.0	m ²			
天井ラワン合板	t4.0	11.0	m ²			
キッチン壁見切	米母上小節 15×25	9.4	m			
流し台側壁	米母上小節 25×150	4.4	m			
見切枠	米母上小節 25×60	13.6	m			
流し台水切下地合板	25×150×1750 ブラケット共	4	箇所			
木製長押	25×90	12.5	m			
鋼製束	H=240~390 受金物共	4	戸分			
軽量鉄骨天井下地	19形	136	m ²			
下足入	900×450×1300	4	箇所			
計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A-4	パネル工事						
	床パネル	F 防虫仕様 スタイロ入パネルt74(ラワン合板t9.0)	4	戸分			
	外周壁パネル	F t25(ラワン合板t4.0)	4	戸分			
	間仕切壁パネル	F t40(ラワン合板t4.0)	4	戸分			
	雑材・下地材	中棚等パネル共	4	戸分			
	内装部品取付費		4	戸分			
	間仕切内蔵電線管・電気ボックス	電線管はPF管とする	4	戸分			
	外周壁電気ボックス裏打補強		4	戸分			
	計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A-7	屋根・樋工事						
	鋼板屋根改修 W-350	立平葺 カラーGL鋼板t0.4	197	m ²			
	同上下地防水シート	アスファルトルーフィング940	197	m ²			
	同上耐水合板下地	t12.0	197	m ²			
	軒先唐草	カラーGL鋼板t0.4	53.3	m			
	妻側唐草	カラーGL鋼板t0.4	14.8	m			
	棟包み	W=762 カラーGL鋼板t0.4 下地共	26.6	m			
	化粧破風包	カラーGL鋼板t0.4	68.1	m			
	軒樋	PC-50カラー同等品 吊金物 ステンレス製@600	53.3	m			
	飾り集水器	105×60カラー	10	箇所			
	豎樋	硬質塩ビ製60 カラー 掴み金物 ステンレス製@900	38.0	m			
	エルボ	60×105°	20	箇所			
	丸排水管カバー	ステンレス製@900	10	箇所			
	荷揚・運搬費		1	式			
	計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A-9	鋼製建具工事						
	アルミ製はめ殺し窓(AW-1)	W370×H335 水切付	4	箇所			
	アルミ製引違い窓(AW-2)	W1550×H720 樹脂製網戸、水切付	4	箇所			
	アルミ製引違い窓(AW-3)	W500×H500 樹脂製網戸、水切付	4	箇所			
	アルミ製引違い窓(AW-4)	W1700×H1792 樹脂製網戸、水切付	8	箇所			
	鋼製片開き扉(SD-1)	W800×H2020 郵便受、ドアスコープ、ドアチェック付	4	箇所			
	建具取付・調整手間		1	式			
	計						

	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A-11	塗装・防水工事						
	外壁洗淨	水洗い工法	124	m ²			
	外壁塗装改修 可とう形改修塗材さざ波(ローラー)	微弾性フィラー厚塗1回 アンダーフィラー弾性イクセル同等品	124	m ²			
	〃 〃	シリコン樹脂塗装 オーテフレッシュSi100 同等品	124	m ²			
	軒天井塗装 アクリル樹脂系非水分散形塗装	下地調整RC種の上B種	36.3	m ²			
	外壁鉄部(幅5cm)塗装改修 2液形ポリウレタンエナメル塗装	下地調整RC種 + 錆止めB種の上A種	64.2	m			
	外壁・建具周りシーリング	変成シリコン系・下地清掃含む	239	m			
	木製額縁塗装	細幅物 OS塗	321	m			
	〃 〃	細幅物 CL塗	321	m			
	木製見切枠塗装(長押共)	細幅物 OS塗	35.5	m			
	〃 〃 (〃)	細幅物 CL塗	35.5	m			
	流し台側板塗装	細幅物 OS塗	4.4	m			
	〃 〃	細幅物 CL塗	4.4	m			
	上框塗装	細幅物 OS塗	4.0	m			
	〃 〃	細幅物 CL塗	4.0	m			
	計						

	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A-13	雑工事						
	テラス庇	W2320×D1185 パワーアルファ自在桁仕様同等品	4	箇所			
	物干し金物	上下伸縮式 DK ADC650EP同等品	4	組			
	テラス庇・物干金物組立設置費		4	箇所			
	基礎幅木補修	爆裂部はつり撤去・鉄筋ケレン防錆プ ライマー、樹脂モルタル補修 H=450	64.2	m			
	基礎幅木塗膜防水	塗膜防水：ハラテックスB-2工法同等品 H=450	64.2	m			
	南・北面外壁開口補修	木下地ケイカル板t12.0(250×250) 周囲シーリング	16	箇所			
	北面外壁開口補修	木下地ケイカル板t12.0(2700× 130~850) 周囲シーリング	4	箇所			
	〃	木下地ケイカル板t12.0(330×460) 周囲シーリング	4	箇所			
	キッチン換気扇用開口はつり	開口240×240 300×300 カッター入共	4	箇所			
	カーテンレール	ステンレス製ダブル L=1900	8	箇所			
	カーテンレール	ステンレス製シングル L=960	4	箇所			
	表札	室番号共 DK5001QAMH同等品	4	箇所			
	台所ステンレス面台	SUS304製 1650×150×20	4	箇所			
	床下換気口	ステンレス製・300×150	12	個所			
	押入 ステンレスパイプ	.30 受け金物共	4	箇所			
	計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A-14	外構工事						
	メッシュフェンス	H=800 材工共 朝日A型50シリーズ同等品	38.7	m			
	南側庭土すきとり	機械	4.6	m3			
	同上山砂敷込み	H=50	91.1	m ²			
	通路すきとり	アスファルト舗装下 機械	8.7	m3			
	アスファルト舗装	再生クラッシャーランt150、密粒アスファルト t50、路床整正共	58.1	m ²			
	地先ブロック	120×120	29.0	m			
	I型バリカーポスト	ステンレス製 取外式	1	箇所			
	北・西・東側通路すきとり	砂利敷下 機械	2.5	m3			
	同上単粒度碎石敷き	C30 t60	42.1	m ²			
	建設発生土処分	構外自由処分	15.8	m3			
	計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A-15	解体工事						
	<外部>						
	外部建具撤去	スチール製片開き玄関扉 W800×H2020 枠共	4	箇所			
	〃	アルミ製内倒し窓 W370×H335 枠共	3	箇所			
	〃	アルミ製引違い窓 W850×H850 枠共	4	箇所			
	〃	アルミ製引違い窓 W1700×H850 枠共	4	箇所			
	〃	アルミ製引違い窓 W1700×H1792 枠共	7	箇所			
	〃	浴室換気ガラリ W320×H450 枠共	4	箇所			
	台所換気扇撤去	枠共	4	箇所			
	居室換気口撤去	〃	8	箇所			
	便所臭突管撤去	塩ビ製100 L=3000 換気扇・金物共	3	箇所			
	便槽及び上部土間コン解体撤去	W900×D800×t100 蓋共	4	箇所			
	玄関ポーチ土間コン解体撤去	W900×D800×t100	4	箇所			
	南側テラス土間コン解体撤去	W1800×D800×t100	4	箇所			
	仕切ブロック解体撤去	W1100×D800×H600	4	箇所			
	外部TV配線撤去	架空配線	1	箇所			
	軒樋撤去	塩ビ製半丸型 支持金物共	53.3	m			
	豎樋撤去	塩ビ製60 支持金物共	15.2	m			

名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
外部シーリング撤去		239	m			
外部埋設雨水排水管撤去	塩ビ管100	13.9	m			
排水桝撤去		4	個所			
アスファルト舗装撤去		2.0	m ²			
床下換気口撤去		12	個所			
浴室煙突撤去		2	箇所			
<内部>						
天井解体撤去	木下地共	110	m ²			
壁解体撤去	"	258	m ²			
天井解体撤去	アスベスト含有ボード	8	m ²			
壁解体撤去	アスベスト含有ボード	52	m ²			
床フローリング解体撤去	床組共	23	m ²			
床合板解体撤去	"	7.9	m ²			
タタミ敷床組解体撤去	"	72.4	m ²			
タタミ撤去		36	枚			
玄関床モルタルはつり撤去	W900 × D900 × t20 ブロック積共	4	箇所			
浴室土間コン解体撤去	W1350 × D1800 × t100 ブロック積共	4	箇所			
コンクリートブロック床束撤去	ブロック200 × 190 × 390 捨てコン共	90	箇所			

名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
内部建具撤去	木製片開き戸 W700×H1800	7	箇所			
内部建具撤去	木製引違い戸 W1700×H1800	7	箇所			
〃	木製引違い扉 W2700×H1800	3	箇所			
〃	アルミ製引違い戸 W1700×H1800	3	箇所			
衛生陶器撤去	和式便器、手洗器、洗面化粧台 給排水配管共	3	戸分			
コンロ・流し台撤去	給排水配管、ガス配管共	3	戸分			
照明器具撤去	玄関、便所、浴室照明	3	戸分			
幹線設備撤去	配管、配線、フルボックス、計器箱等	3	戸分			
弱電・コンセント設備撤去	分電盤、配線、コンセント、フルボックス等	3	戸分			
<積込費>						
発生材積込費	コンクリートがら	6.8	m3			
〃	アスファルトがら	0.1	m3			
〃	廃プラスチック類	0.3	m3			
〃	ガラス、陶器類	0.6	m3			
〃	木屑	19.4	m3			
〃	繊維屑(タタミ)	36	枚			
〃	金属類	0.1	t			
〃	アスベスト含有ボード	0.2	m3			
<運搬費>						
発生材運搬費	コンクリートがら	6.8	m3			

名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
発生材運搬費	アスファルトがら	0.1	m3			
〃	廃プラスチック類	0.3	m3			
〃	ガラス、陶器類	0.6	m3			
〃	木屑	19.4	m3			
〃	繊維屑(タタミ)	36	枚			
〃	金属類	0.1	t			
〃	アスベスト含有ボード	0.2	m3			
<処分費>						
発生材処分費	コンクリートがら	6.8	m3			
〃	アスファルトがら	0.1	m3			
〃	廃プラスチック類	0.3	m3			
〃	ガラス、陶器類	0.6	m3			
〃	木屑	19.4	m3			
〃	繊維屑(タタミ)	36	m3			
〃	金属類	0.1	t			
〃	アスベスト含有ボード	0.2	m3			
計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
E-1	幹線設備工事						
	ビニル絶縁電線	EM-IE5.5mm2	107	m			
	"	EM-IE14mm2	13	m			
	600V CV-Tケーブル	8mm2	107	m			
	"	100mm2	13	m			
	同軸ケーブル	S-5C-FB	92	m			
	ICTケーブル	0.5mm × 2P	98	m			
	PF管	PF-16	189	m			
	電線管	HIVE-28	7	m			
	"	HIVE-36	7	m			
	"	HIVE-42	7	m			
	"	HIVE-70	11	m			
	可とう電線管	30mm WP	1	組			
	"	38mm WP	2	組			
	"	50mm WP	2	組			
	"	76mm WP	2	組			
	プルボックス ステンレス製防水	400 × 400 × 300mm	1	箇所			
	"	300 × 300 × 200mm	1	箇所			

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
E-2	電灯コンセント設備工事						
	ビニル絶縁ケーブル	EM-EEF1.6mm×2C	84	m			
	〃	EM-EEF1.6mm×3C	64	m			
	〃	EM-EEF2.0mm×2C	116	m			
	〃	EM-EEF2.0mm×3C	192	m			
	〃	EM-EEF2.6mm×2C	24	m			
	ビニル絶縁電線	EM-IE1.6mm	46	m			
	PF管	PF-16	72	m			
	〃	PF-22	64	m			
	VAモール		8	m			
	照明器具(A)	引掛けローゼット	12	台			
	照明器具(B)	LEDダウンライト 8W×1	12	台			
	照明器具(C)	流し元灯 FL20W×1	4	台			
	埋込型スイッチ	1P15A×1	16	組			
	〃	1P15A×1 PL×1	12	組			
	埋込型コンセント	2P15A/20A×1 ET付	16	組			
	〃	2P15A×2	24	組			
	〃	2P15A×2 ET付	8	組			

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
E-3	弱電設備工事						
	インターホン用電線	AE0.9mm×2C	64	m			
	同軸ケーブル	S-5C-FB	132	m			
	PF管	PF-16	56	m			
	分配器	4分配	5	箇所			
	共聴用UHFブースタ	35dB	1	箇所			
	直列ユニット	端末用	12	箇所			
	電話用埋込型モジュラジャック	6極2芯	4	箇所			
	呼出チャイム	本体・押し釦 AC100V用	4	箇所			
	住宅用火災警報器(既設使用)	電池式 煙	8	箇所			
	” (”)	” 熱	4	箇所			
	アウトレットボックス	四角中浅 塗代付 44	12	箇所			
	計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
M-1	給水設備工事						
	メーター等設置	メーター13 市貸与品	4	箇所			
	給水管	地中配管 PP 40	30	m			
	〃	地中配管 PP 20	15	m			
	〃	屋内配管 ポリテン管 20	14	m			
	〃	屋内配管 ポリテン管 13	45	m			
	サドル付分水栓	40×20 ポリ管用	4	箇所			
	埋設表示テープ		30	m			
	汚泥弁	GV20	1	箇所			
	土工事	機械	1	式			
	建設発生土処分	構外自由処分	4	m ³			
	アスファルトカッター		3	m			
	アスファルト舗装	再生ク래ッシャーランt150、密粒アスファ ルトt50、路床整正共	2	m ²			
	計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
M-2	排水設備工事						
	排水管	地中配管 VU 100	43	m			
	"	地中配管 VU 75	36	m			
	"	地中配管 VU 50	10	m			
	"	屋内配管 VU 75	16	m			
	"	屋内配管 VU 50	10	m			
	排水柵	塩ビ製蓋付 LT100-150	5	箇所			
	"	塩ビ製蓋付 UT100-150	15	箇所			
	雨水柵	塩ビ製小口径柵・蓋付 300	5	箇所			
	土工事	機械	1	式			
	建設発生土処分	構外自由処分	6	m3			
	基礎貫通穴あけ	100	22	箇所			
	計						

名 称		仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
M-4	衛生器具設備工事						
	洋風便器(普通便座・節水形)	BC-110STU、DT-580BL、 CF47AT同等品	4	箇所			
	棚付手摺	NKF-3W/KJ同等品	4	箇所			
	洗面化粧台	FCN-500/P1FW同等品	4	箇所			
	鏡付化粧キャビネット	MFK-501同等品	4	箇所			
	洗濯パン(水栓付)	426-501同等品	4	箇所			
	洗濯用横引き排水トラップ	426-144同等品	4	箇所			
	流し台(L=1050)	S-105S同等品	4	箇所			
	コンロ台(L=600・バックガード付)	S-60GB同等品	4	箇所			
	吊戸棚(L=1050)	S-105A同等品	4	箇所			
	水切棚2段	SK900-2N同等品	4	箇所			
	キッチンフード(L=600)	V-603同等品	4	箇所			
	混合水栓	SF-HE430S同等品	4	箇所			
	計						

特記仕様書
(条件明示)

工事名 可児市市営東野住宅K棟改修工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等	
工	程		
	<input type="checkbox"/>	1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/>	2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/>	3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ()
	<input type="checkbox"/>	4. 占用許可状況 ()	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/>	5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/>	6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/>	7. 文化財協議 (教育文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
用	地		
	<input type="checkbox"/>	1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (N C ~ N O) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 () <input type="checkbox"/> C. 内容 ()
	<input type="checkbox"/>	2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 () <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	<input type="checkbox"/>	3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 () <input type="checkbox"/> D. 別途協議
公 害 対 策	<input type="checkbox"/>	4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
	<input type="checkbox"/>	1. 施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> A. 騒音 () <input type="checkbox"/> B. 振動 () <input type="checkbox"/> C. 水質 () <input type="checkbox"/> D. その他 ()
	<input type="checkbox"/>	2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ()
	<input type="checkbox"/>	3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり <input type="checkbox"/> B. アスベスト含有材あり <input type="checkbox"/> C. フロン回収あり <input type="checkbox"/> D. その他 ()
安 全 対 策	<input type="checkbox"/>	4. その他	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input type="checkbox"/> C. 時間制限あり () <input type="checkbox"/> D. 迂回路あり <input type="checkbox"/> E. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/>	1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (N C ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 () 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (N C ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/>	2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (N C ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 () 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (N C ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/>	2. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間 (N C ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 () 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (N C ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/>	3. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり () <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり () <input type="checkbox"/> C. 未協議内容 () <input type="checkbox"/> D. 未協議内容 ()
	<input type="checkbox"/>	4. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input type="checkbox"/>	5. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
	<input type="checkbox"/>	1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり <input type="checkbox"/> C. 安全施設必要 () <input type="checkbox"/> D. 路面工 () <input type="checkbox"/> E. 構造 () <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/>	2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 () <input type="checkbox"/> C. 路面工 () <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 () <input type="checkbox"/> E. 構造 () <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/>	3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
	<input type="checkbox"/>	1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 内容 ()
	<input type="checkbox"/>	2. 仮設建造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 内容 () <input type="checkbox"/> A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等	
建 設 発 生 土 建 設 (産 業) 廃 棄 物 係 関	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 運搬距離 (7.0 Km) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地 (押土、敷均、締固等) 必要 <input type="checkbox"/> D. 整地 (押土) 必要
	<input checked="" type="checkbox"/>	2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. ストックヤード利用あり () <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 (Km) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/>	3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地 (押土、敷き均し、転圧) あり <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 (Km) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/>	4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 () <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり (運搬距離) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋戻し <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/>	5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 () <input type="checkbox"/> B. 場所 () <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 (Km) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input checked="" type="checkbox"/>	6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可児市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/>	7. 「可児市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) <input checked="" type="checkbox"/> B. 建設発生土処理地の関係図書 <input type="checkbox"/> C. クレダス <input type="checkbox"/>
工 事 支 障 物 件	<input type="checkbox"/>	1. 占用支障物件あり (電気)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/>	2. 占用支障物件あり (電話)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/>	3. 占用支障物件あり (水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/>	4. 占用支障物件あり (下水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/>	5. 占用支障物件あり (ガス)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/>	6. 占用支障物件あり (マホ-ル蓋、仕切り弁蓋等)	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 () <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ()
	<input type="checkbox"/>	7. 占用支障物件あり (その他)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 () <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/>	8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
排 水 工 関 係	<input type="checkbox"/>	1. 濁水、濁水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 () <input type="checkbox"/> B. その他 ()
	<input type="checkbox"/>	2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
再 生 材 使 用 及 び 溶 融 ス ラ グ	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. R C <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材 (30% 再生) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材 (100% 再生) <input type="checkbox"/> D. 溶融スラグ使用あり () <input type="checkbox"/> E. 再生材を使用できない場合別途協議
	<input type="checkbox"/>	2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
そ の 他	<input type="checkbox"/>	1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 () <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ()
	<input type="checkbox"/>	2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 () <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ()
	<input type="checkbox"/>	3. イメージアップあり	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 () <input type="checkbox"/> B. 安全費 () <input type="checkbox"/> C. 営繕費 () <input type="checkbox"/> D. 特別なイメージアップ ()
	<input type="checkbox"/>	4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()

可児市市営東野住宅 K 棟改修工事 設計図

図面リスト					
番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
建 - 1	建築工事特記仕様書 (1)		建 - 17	改修後断面詳細図 . 2	1 / 10 ・ 1 / 30
建 - 2	建築工事特記仕様書 (2)		建 - 18	ユニットバス詳細図 . 1	1 / 30
建 - 3	建築工事特記仕様書 (3)				
建 - 4	改修後外部・内部仕上表				
建 - 5	配置図・付近見取図	1 / 300			
建 - 6	現況平面図	1 / 100	電 - 1	電気設備特記仕様書	
建 - 7	現況立面図	1 / 100	電 - 2	屋外 T V 共聴設備配置図	1 / 300
建 - 8	改修後平面図	1 / 100	電 - 3	幹線設備平面図	1 / 100
建 - 9	改修後立面図	1 / 100	電 - 4	電灯・コンセント・弱電設備図	1 / 50
建 - 10	改修後矩計図・部分詳細図	1 / 5 ・ 1 / 30	電 - 5	換気扇設備図	1 / 50
建 - 11	改修後平面詳細図	1 / 10			
建 - 12	建具表 (1)	1 / 50			
建 - 13	建具表 (2)	1 / 50			
建 - 14	改修後基礎伏図・断面詳細図・既設基礎詳細図	1 / 20 ・ 1 / 100	機 - 1	機械設備特記仕様書	
建 - 15	改修後床パネル伏図	1 / 30	機 - 2	給排水設備図	1 / 100
建 - 16	改修後断面詳細図 . 1	1 / 10			

特記仕様書（ 1 ）

工事概要

- 1 . 工事名称
- 2 . 主要用途
- 3 . 工事種別
- 4 . 敷地
- 5 . 都市計画
- 6 . 工事建物の概要
- 7 . 本工事の範囲
- 8 . 別途工事

市営東野住宅 K 棟改修工事
 長屋住宅
 長屋住宅内外装改修、テラス庇増築
 建設地 : 可見市川合地内
 都市計画区域: 都市計画区域内 用途地域: 無指定地域 防火地域: 指定なし

名称	長屋住宅（ 1 棟）	テラス庇（ 4 ヶ所）		
構造	PCパネル造	アルミ造		
階数	平屋建	平屋建		
延床面積	1 5 7 . 8 0 m ²	6 . 2 5 m ²		
建築面積	1 5 7 . 8 0 m ²	6 . 2 5 m ²		

建築工事 一式
 電気設備工事 一式
 機械設備工事 一式
 ガス設備工事 一式

一般共通事項

- 1 . 適用範囲
- 2 . 特記仕様
- 3 . 提出書類等
- 4 . 工事実績情報の登録
- 5 . 発生材の処理等

(1) この特記仕様書、図面及び現場説明書（現場説明に対する質疑回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省住宅局住宅総合整備課監修の公共住宅建設工事共通仕様書（最新版）（以下「共仕」という）による。その他適用基準として、公共建築改修工事標準仕様書（最新版）、可見市建設工事共通仕様書による。

(2) 設計図書間に相違がある場合の優先順位は下記による。
 1) 現場説明に対する質疑回答書
 2) 現場説明書
 3) 特記仕様書
 4) 図面（設計図書に関する疑義は原則として入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとする。）

(3) 図面間で相違のある場合は下記による。
 意匠図：仕上表を優先

(1) 特記事項のうち選択する事項は、印の付いたものを適用する。

(2) 「大規模地震対策特別措置法」による警戒宣言が発せられた場合、被害想定される地域においては工事請負人は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに工事中断の措置をとること。

本工事の施工に関して提出する書類は、可見市建設工事における取扱い書類一覧表に基づき作成し提出又は提示する。また、工事着手時に工事用製本（A3二つ折り）2部を提出する。

受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリンズ）に基づき、受注、変更、完成、訂正時に工事実績情報として『登録のための確認のお願い』を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。
 なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。
 ただし、工事請負代金2500万円をまたいで変更する場合および工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。

発生材は、請負者の負担により構外に搬出し、建設副産物処理推進要綱、資源の有効な利用の促進に関する法律等（ラージサイクル法）及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）その他関係法令等に従い適正に処理すること。再生資源利用促進計画書、再生資源利用計画書は、可見市建設工事共通仕様書により、施工計画を含めて提出すること。また、作成にあたり建設リサイクルデータ統合システム「CREDA S」を利用すること。
 1)再生資源利用計画書 2)再生資源利用促進計画書
 工事完了時に可見市建設工事共通仕様書に定める実績書と入力データを監督員に提出すること。
 1)再生資源利用実施書 2)再生資源利用促進実施書
 また、処分完了後に運付されたマニフェストはA～E票を全て監督員に提示すること。

- 6 . 施工計画書
- 7 . 工事の記録
- 8 . 施工中の安全確保及び環境保全
- 9 . 養生
- 10 . 材料等
- 11 . 技能士
- 12 . 施工の検査等
- 13 . 周辺環境への配慮等
- 14 . 電気保安技術者
- 15 . 技術検査
- 16 . 完成時の提出図書
- 17 . 完成時検査
- 18 . 保全に関する資料
- 19 . 軽微な変更
- 20 . 事故報告
- 21 . ワンデーレスポンスの取り組みについて

次の工程に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、請負者のチェックの上、監督職員に提出すること。
 仮設工事 土間コンクリート工事 木工事 外構工事
 パネル工事 内装工事 断熱工事 屋根・樋工事
 木製建具工事 鋼製建具工事 ガラス工事 塗装、防水工事
 ユニットバス工事 解体工事

工事写真は共通仕様書に基づき撮影し、完成時に提出する。
 カラーサービスサイズ デジタル写真データ

次の工程の工事を施工する場合は、工事車輛の通行する各要所に保安用員を配置して、通行者の安全確保を図る。
 解体廃材搬出時。
 その他必要と認められる時。

工事の施工に伴い、既存築造物部分、工事目的物の施工済み部分等に汚染又は損傷を与えた場合は、請負者の責任において構造及び仕上げを原形に復旧すること。

(1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。
 使用する建築材料が、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。

(2) 室内に使用する合板、接着剤等は揮発性有機化合物（VOC）の放出量の少ない材料とし、監督職員の承諾を受けること
 また、下記の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告すること。
 測定する室はダイニング・キッチン、居室（ 1 ）、居室（ 2 ） 一棟計 3 ヶ所とする。
 測定方法 バッシブ型採取法
 対象物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン

適用する 適用しない

見本施工 行う 行わない

本工事施工にあたり周辺環境に対して影響を与えない様、養生・整理清掃・安全対策に充分留意して、監督員と協議の上実施する。
 工事着手以前に監督員と協議を行い、解体工事等の騒音・粉塵・塗装工事の悪臭等、周囲に影響を及ぼすおそれのある工事に対して十分に注意をばらう。
 また施工方法・施工手順についても配慮をする。

適用する 適用しない

実施する 実施しない

工事完成時には可見市建設工事における取扱い書類一覧に基づき書類整理し完成図書としてまとめ、監督員に提出すること。
 完成図は施工図も含め完成製本（A 2 二つ折り、A 3 二つ折り）各 2 部を提出すること。
 また、C A D データ（. J W W または. D X F）を提出すること。

完成時検査はあらかじめ監督員の完成下検査を受検し、指摘事項等を全て完了した上で受けなければならない。
 完成検査は現場検査及び書類検査を実施する。完了検査時に持参する必要書類は監督員の指示による。

建物の適正な保全に関する資料を監督員と協議の上作成し、保証書（設備機器、屋根鉄板（材料の腐食による穴あきに対する 1 0 年間の保障）その他）、設備機器取扱い説明書、鍵引渡書と共に監督員に提出すること。

現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法の軽微な変更は、監督職員の指示による。
 なお、この場合請負金額の変更は行わない。

工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報すると共に、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。

1 . この工事は、ワンデーレスポンス対象工事です。
 「ワンデーレスポンス」とは
 受注者からの質問、協議、報告、承諾願、確認願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
 2 . 実施にあたっては、可見市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。
 3 . 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。
 4 . 受注者は施工計画に基づいて適切な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。



可見市役所
 建設部施設住宅課

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可見市市営東野住宅 K 棟改修	工事設計図
			建 - 1	図面名	特記仕様書（ 1 ）	scale 1/

特記仕様書（ 2 ）

22.施工体制台帳	<p>工事を施工するために締結した下請契約があるときは、施工体制台帳を作成し、現場に備えると共に、別に定める様式（可児市建設工事共通仕様書による別紙18号様式）により、監督員に提出すること。</p>
23.その他	<p>工事に際し保険に加入すること。 本工事において、発注者、請負者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた被害）及び、火災保険（保険対象：工事建物）、建設工事保険等（保険対象：一般的損害）に加入するものとする。また、工事着手前に保険証書の写しを監督員に提出すること。</p> <p>ガス設備工事施工業者（別途発注）との工程等の調整をすること。</p>

仮設工事	
1.仮設建物	<p><input type="radio"/> 仮設便所を設置する。 <input type="radio"/> その他仮設建物設置する場合は、予め監督員の承諾を受ける。 <input type="radio"/> 仮設建物の設置場所については、予め監督員の承諾を受ける。</p>
2.仮囲い、その他	<p>仮囲い等は、関係法令等に従い、適切な材料・構造のもとで図示により設置して、事故防止・安全管理に努める。</p>
3.監督職員事務所	<p>・ 設ける <input type="radio"/> 設けない 備品等は、机、いす、その他監督職員の指示によるものとする。</p>
4.工所用電力	<p>（1）引き込み <input type="radio"/> 本工事において構外から引き込む。 ・ 構内の既存設備を利用する（ ・ 有償 ・ 無償 ）</p> <p>（2）設置及び撤去に要する費用等は、請負者負担とする。 （3）設置場所、施工方法は、監督職員と協議する。</p>
6.工所用進入路	<p>工事進入路の整備・復旧は全て本工事とする。</p>
7.足場等	<p>必要と思われる場所及び監督員の指示する場所に足場を設置し事故防止安全管理に努める。 解体工事、塗装工事の際には隣接地への配慮に十分留意し養生シートを設置すること。</p>
8.イメージアップ	<p>・ 適用する <input type="radio"/> 適用しない</p>
9.その他	<p>工事車両駐車場は団地敷地内とし監督員の指示による。</p>

土工事	
1.根切り及び埋戻し	<p>埋戻しは原則現場発生土とする。</p>
2.地均し	<p>建物の周囲の地均しの範囲は、図面による。</p>
3.建設発生土の処理	<p>構外自由処分とする。 建設発生土については、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」、及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき管理するものとする。 （また、本工事の建設発生土において土壌検査を実施し、結果を監督員に報告するものとする。）</p>

地業工事	
1.砂利地業	<p><input type="radio"/> 再生クラッシュラン <input type="radio"/> 切込み砂利または切込み砕石 （土間スラブ下） （基礎下）</p>
2.土間下防湿シート	<p>ポリエチレンフィルム t = 0.15mm</p>

鉄筋工事							
1.種類	<table border="1"> <tr> <th>鉄筋の種類</th> <th>呼び名</th> </tr> <tr> <td>S D 3 4 5</td> <td>D 1 9 以上</td> </tr> <tr> <td>S D 2 9 5 A</td> <td>D 1 6 以下</td> </tr> </table>	鉄筋の種類	呼び名	S D 3 4 5	D 1 9 以上	S D 2 9 5 A	D 1 6 以下
鉄筋の種類	呼び名						
S D 3 4 5	D 1 9 以上						
S D 2 9 5 A	D 1 6 以下						

コンクリート工事								
1.レディミクストコンクリートの種別	<p>レディミクストコンクリートの種別： 類</p>							
2.普通コンクリート設計基準強度及びスランプ	<table border="1"> <tr> <th>設計基準強度</th> <th>施工箇所</th> <th>スランプ</th> </tr> <tr> <td>18 N/mm²</td> <td>土間</td> <td>15</td> </tr> </table>		設計基準強度	施工箇所	スランプ	18 N/mm ²	土間	15
設計基準強度	施工箇所	スランプ						
18 N/mm ²	土間	15						
3.セメントの種類	<p>種類：普通ポルトランドセメント</p>							
4.骨材の種類	<p>種類：A（コンクリート中のアルカリ総量、R t = 3.0kg/m³以下）</p>							
5.圧縮強度試験	<p>・ 強度試験を実施する <input type="radio"/> 強度試験を実施しない</p>							
6.空洞コンクリートブロック	<p>種別：普通ブロックC種（厚さ：100） 鉄筋：縦 D 10-@400、頭つなぎ D 10</p>							
7.型枠の種類	<p>種別：普通型枠 t=12</p>							

防水工事																	
1.シーリング	<p>（1）シーリング材の種類、施工箇所及び目地寸法</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> <th>目地寸法</th> </tr> <tr> <td>外部建具周り</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>10 x 10</td> </tr> <tr> <td>外壁PCパネル部</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>7 x 7</td> </tr> <tr> <td>外壁開口補修部</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>7 x 7</td> </tr> <tr> <td>流し台取合部</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>7 x 7</td> </tr> </table> <p>（2）シーリング材の接着性試験の実施及び試験方法 ・ 実施する <input type="radio"/> 実施しない</p>		施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法	外部建具周り	変成シリコーン系	10 x 10	外壁PCパネル部	変成シリコーン系	7 x 7	外壁開口補修部	変成シリコーン系	7 x 7	流し台取合部	変成シリコーン系	7 x 7
施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法															
外部建具周り	変成シリコーン系	10 x 10															
外壁PCパネル部	変成シリコーン系	7 x 7															
外壁開口補修部	変成シリコーン系	7 x 7															
流し台取合部	変成シリコーン系	7 x 7															

木工事							
1.一般事項	<p>（1）木材の断面寸法 造作材等で監督職員の承諾を受けて納まり寸法とすることができる。 （2）表面の仕上げの程度 <input type="radio"/> A種 ・ B種 ・ C種</p>						
2.木製壁・床パネル	<p>内壁パネル厚 t = 40、床パネル厚 t = 74 施工図を作成し、監督員の承認を受けて施工すること。また、施工過程において適宜 社内検査を実施し良好な施工に努めること。</p>						
3.木材の品質	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>品質（含水率）</th> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>18%以下</td> </tr> </table>	種類	品質（含水率）	造作材	18%以下		
種類	品質（含水率）						
造作材	18%以下						
4.樹種	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>樹種</th> </tr> <tr> <td>構造材</td> <td>米桐上小節</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>米桐上小節</td> </tr> </table>	区分	樹種	構造材	米桐上小節	造作材	米桐上小節
区分	樹種						
構造材	米桐上小節						
造作材	米桐上小節						
5.床組	<p>土台（木90 x 45）、受木（木60 x 90 L=300）、束（鋼製束）</p>						
6.長押	<p>木25 x 90</p>						

屋根工事	
1.立平葺	<p>既設瓦葺きの上耐水合板 t=12貼 + アスファルトルーフィング940下地、立平葺 [S K 式エバールーフトてひら350：メーカケフ同等品] カラーガルバリウム鋼板 t=0.4、軒先・妻側唐草及び棟包み・化粧破風カラーガルバリウム鋼板 t = 0.4加工</p>
2.雨樋	<p>軒樋：塩ビ製角樋 [P C - 50カラー：パナソニック同等品]、ステンレス製正面打ち吊り金具@600 壁樋：塩ビ製 60カラー、ステンレス製支持金物@900、養生管 H 500</p>

特記仕様書（3）

左官工事

1.土間コンクリート面均し	木こて
2.モルタル塗り仕上	金こて押え
3.モルタル使用セメント	普通ポルトランドセメント
4.外壁コンクリート巾木劣化部補修	事前にコンクリート巾木劣化状況調査を実施し監督員とコンクリート爆裂部について協議し補修を検討すること。 爆裂部はつり・撤去、鉄筋露出部ケレンがけ・防錆プライマー塗、樹脂モルタル補修の上塗膜防水 [バラテックスB-2工法同等品]

建具工事

1.アルミニウム製建具	<p>(1) 外部に面する建具</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>70mm</td> <td>外部</td> </tr> </table> <p>(2) 網戸は樹脂製とする。</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込	施工箇所	A種	S-4	A-3	W-4	70mm	外部
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込	施工箇所								
A種	S-4	A-3	W-4	70mm	外部								
2.網製建具	玄関ドアは他アルミサッシと同様に既設(枠共)を撤去し、新設とする。												
3.木製建具	合板類はホルムアルデヒドの放散量がJASで定めるFco等級のもの、シックハウス対策F製品を使用すること。												
4.建具用金物	マスターキーは不要。金物はSUS製とする。												
5.ガラス	<p>(1) 材料 使用区分は図面による。</p> <p>(2) ガラスの厚さは図示による。</p> <p>(3) ガラスとめ材</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> <th>寸法</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>シリコーン系</td> <td>8 x 8</td> </tr> </table>	建具の種類	材種	寸法	アルミニウム製	シリコーン系	8 x 8						
建具の種類	材種	寸法											
アルミニウム製	シリコーン系	8 x 8											

塗装工事

1.材料	塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性系のものを原則とする。シックハウス対策が必要な部分はF製品を使用すること。										
2.既存塗膜等の除去及び補修	事前に外壁PCパネル部劣化状況調査を行い、監督員と協議のうえ下地のひび割れ部等の補修を検討すること。 外壁塗装改修前の水洗いは粉化物、付着物をデッキブラシ等を用いて除去・清掃すること。										
3.下地調整	<p>(1) 鉄鋼面 RA種 RB種 RC種</p> <p>(2) せっこうボード及びその他のボード面 RA種 RB種 RC種</p>										
4.各塗装	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>軒天</td> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)</td> </tr> <tr> <td>外壁PCパネル部</td> <td>可とう形改修塗材E(さざ波)</td> </tr> <tr> <td>外壁鉄部</td> <td>2液形ポリウレタンエナメル塗装(2-UE)</td> </tr> <tr> <td>屋内木造作材</td> <td>オイルステイン塗の上クリアラッカー塗(OSCL)</td> </tr> </table>	種類	種類	軒天	アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)	外壁PCパネル部	可とう形改修塗材E(さざ波)	外壁鉄部	2液形ポリウレタンエナメル塗装(2-UE)	屋内木造作材	オイルステイン塗の上クリアラッカー塗(OSCL)
種類	種類										
軒天	アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)										
外壁PCパネル部	可とう形改修塗材E(さざ波)										
外壁鉄部	2液形ポリウレタンエナメル塗装(2-UE)										
屋内木造作材	オイルステイン塗の上クリアラッカー塗(OSCL)										

内装工事

1.接着剤	ビニル床シート等に使用する接着剤はホルマリン不検出のものとする。シックハウス対策が必要な部分はF製品を使用すること。 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。																
2.ビニル床シート貼	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様等</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ビニル床シート</td> <td>クッションフロアー</td> <td>1.8mm</td> <td>水性ワックス</td> </tr> </table>	名称	仕様等	厚さ	備考	ビニル床シート	クッションフロアー	1.8mm	水性ワックス								
名称	仕様等	厚さ	備考														
ビニル床シート	クッションフロアー	1.8mm	水性ワックス														
3.ビニル幅木	高さ 60mm 75mm 100mm																
4.フローリング貼	厚さ：12mm 表面：天然木薄単板 寸法：303×1,818 見本にて決定する。																
5.石膏ボード その他ボード貼	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様等</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>化粧石膏ボード</td> <td>準不燃</td> <td>9.5mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラワン合板</td> <td>床：類 他：類</td> <td>床：12mm 他：4mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ケイカル板</td> <td>不燃</td> <td>6mm</td> <td></td> </tr> </table>	名称	仕様等	厚さ	備考	化粧石膏ボード	準不燃	9.5mm		ラワン合板	床：類 他：類	床：12mm 他：4mm		化粧ケイカル板	不燃	6mm	
名称	仕様等	厚さ	備考														
化粧石膏ボード	準不燃	9.5mm															
ラワン合板	床：類 他：類	床：12mm 他：4mm															
化粧ケイカル板	不燃	6mm															

6.壁紙貼	壁紙の種類：ビニル 防火性能の種類：2級 品質：1級品AA程度 見本により決定する。
7.断熱・結露材	厚55硬質発泡ウレタンフォーム吹付工法(A種) 施工箇所：屋根 厚25硬質発泡ウレタンフォーム吹付工法(A種) 施工箇所：各住戸外部壁面及び界壁 住宅の品質確保の促進に関する法律による「断熱等級3」を確保すること。
8.床、壁間仕切パネル	パネル製品は、施工図作成の上監督員の承諾を受け専門製造工場(日本住宅パネル工業協同組合等)において正確に製作する。また、組立順序を事前に打合せ効率よく施工すること。 パネル芯材は針葉樹及び木材二次加工品(針葉樹、広葉樹)とする。接着を要するものは、材質に適した接着材を使用して加圧接着する。 床パネル：厚74木パネル(ラワン合板t=9.0)とし、断熱材(厚55スタイロフォーム)入とすること。また、防虫仕様とすること。 壁間仕切パネル：厚40木パネル(ラワン合板t=4.0両面)とし、電気BOX及び電線管をパネル工事に含む。 外周壁パネル：厚25木パネル(ラワン合板t=4.0)とする。 住宅の品質確保の促進に関する法律による「断熱等級3」を確保すること。

仕上げユニット工事

浴室ユニット	メーカー規格品とし、施工図作成の上監督職員の承諾を受けて施工する。その他詳細図による。 ユニットバス：1,200×1,600 (1216型) 本体仕様には浴槽、巻き蓋、折れ戸、収納棚、共用サーモシャワー水栓、鏡、照明、手摺(2ヶ所)、窓接続枠を含むものとする。
--------	--

雑・外構工事

1.フェンス等	メーカー規格品とし、施工図作成の上監督職員の承諾を受けて施工する。 メッシュフェンス：H=800、コンクリートブロック基礎180×180×450 [(株)朝日スチール工業：A型 50シリーズ同等品]												
2.テラス庇	メーカー規格品とし、施工図作成の上監督職員の承諾を受けて施工する。[トステム(株)：パワーアルファF型出幅自在桁仕様同等品] テラス庇：アルミ製 ポリカ平板、物干し金物 [大建プラスチック DKADC650EP2同等品] 付 無筋コンクリート基礎300×300×300												
3.表札	[大建プラスチック：DK5001QAMH同等品]												
4.アスファルト舗装	<p>路盤材料 クラッシャー・ランのRC-40 路盤の締固め度の検査 行わない</p> <p>アスファルト種類</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>舗装部の基層</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アスファルト舗装</td> <td>○無し ・有り</td> <td>・敷地南側通路舗装</td> </tr> </table> <p>アスファルト材料 ○ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト</p> <p>再生アスファルト混合物の種類</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>区分</th> <th>一般地域</th> </tr> <tr> <td>密粒度アスファルト混合物</td> <td>表層</td> <td>○密粒度アスファルト混合物</td> </tr> </table>	舗装の種類	舗装部の基層	備考	・アスファルト舗装	○無し ・有り	・敷地南側通路舗装		区分	一般地域	密粒度アスファルト混合物	表層	○密粒度アスファルト混合物
舗装の種類	舗装部の基層	備考											
・アスファルト舗装	○無し ・有り	・敷地南側通路舗装											
	区分	一般地域											
密粒度アスファルト混合物	表層	○密粒度アスファルト混合物											
5.緑石ブロック	・地先境界ブロックのJISによる呼び名 A ・ B ・ C												
6.バリアカーポスト	・I型取外し式蓋及び南京錠付 材質：ステンレス304鏡面仕上 径：100 [東洋エクステリア スペースガードF48型同等品]												

工事区分表

発注別による各工事は、着工に先立ち、構造・仕上・工程等を十分に検討調整した後に、それぞれの工事内容を把握し下記に 印を付したものを適用して施工する。

番号	項目	建築	電気	機械	備考
1	く体梁貫通スリーブ		○	○	キッチン換気扇設置部は建築既設開口240×240 300×300
2	内装パネル内配管及び位置ボックス	○			
3	同上入線及び機器接続		○	○	
4	軒樋、堅樋 (雨水樹接続まで)	○			
5	同上 (雨水樹から排水先まで)			○	
6	衛生陶器類			○	付属品一式(便所内手摺共)
7	流し台・コンロ台・吊戸棚・キッチンフード			○	流し台ステンレス面台部は建築
8	洗面化粧台・洗濯パン・洗濯用排水トラップ			○	
9	ユニットバス	○			
10	5～8の設備配管配線工事		○	○	
11	給湯器			○	
12	換気設備		○		

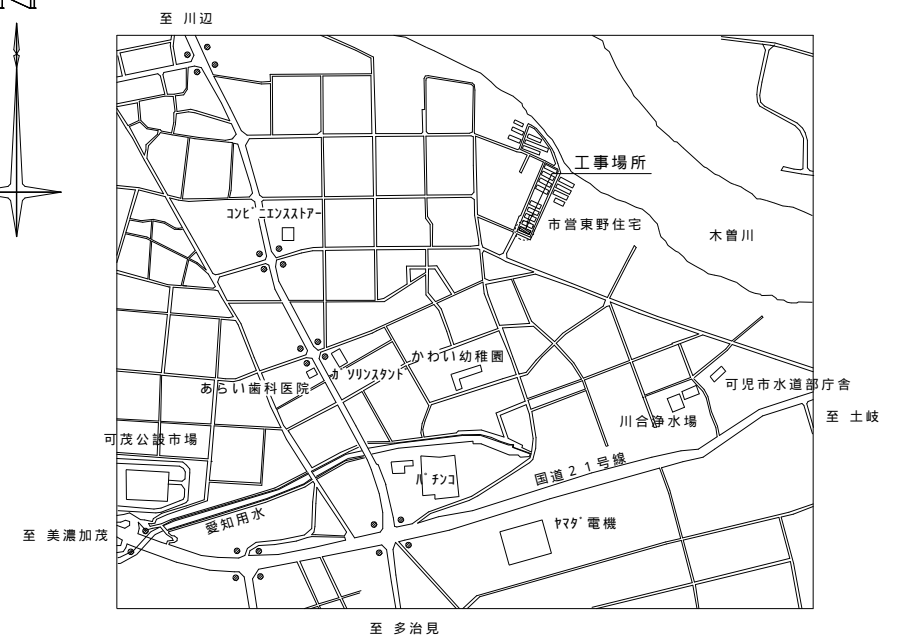
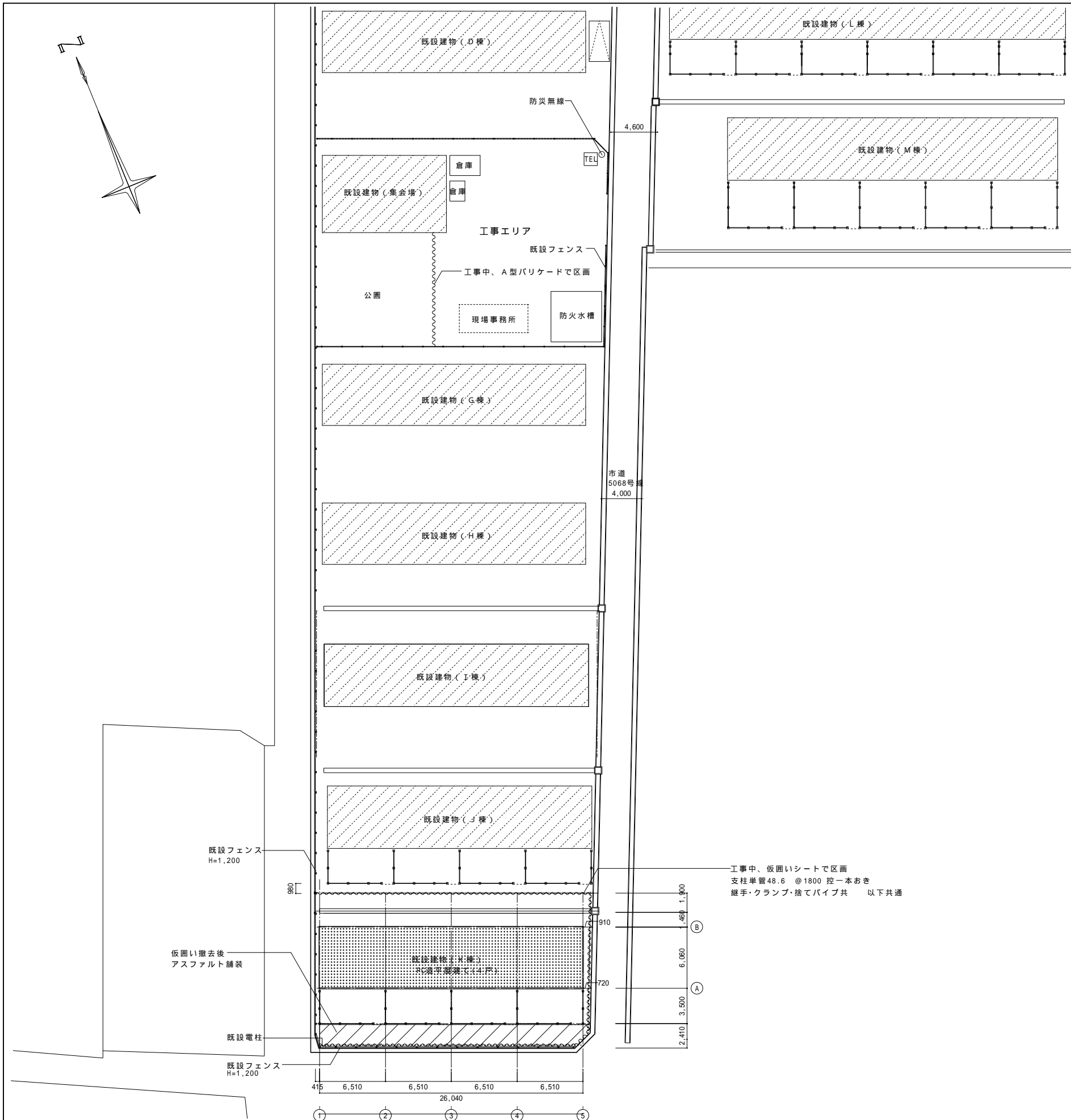


可児市役所	承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市市営東野住宅K棟改修	工事設計図
建設部施設住宅課				建-3	図面名	特記仕様書(3)	scale 1/

外部仕上表				
屋根	既設瓦葺きの上防水合板 t=12貼 + アスファルトルーフィング940下地、立平葺 (SK式エパルーフたてひら350:メト-カケフ同等品) カラーガルバリウム鋼板 t=0.4、軒先・妻側唐草及び棟包み・化粧破風カラーガルバリウム鋼板 t = 0.4加工	建具	玄関ドア: スチール製、窓: アルミ製	
	屋根断熱: 硬質発泡ウレタン吹付 t=55 (A種・難燃3級)	巾木	既設コンクリート巾木燻製部はつり・撤去、鉄筋露出部ケレンがけ・防錆プライマー塗、樹脂モルタル補修の上塗膜防水 (バラテックス B - 2 工法同等品)	
軒天	既設石綿スレート板貼水洗い、下地調整 (C種) の上アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD) 塗り (B種)	ポーチ土間	コンクリート金こて押え、W1200×D900 (既設布基礎に金属製拡張アンカー D 10@150, 溶接金網 D 10@150)	
軒樋	塩ビ製角樋 (PC-50カラー: パナソニック同等品)、ステンレス製正面打ち吊り金具@600	床下換気口	既設鉄製床下換気口撤去、及び新設ステンレス製 (W300×H150 防虫網付)	
壁	塩ビ製 60カラー、ステンレス製支持金物@900、養生管 H500			
外壁	既設外壁水洗い、下地調整及び劣化部補修の上可とう形改修塗材 E (さざ波: 微弾性ファイラー厚塗り 1回 + シリコン系樹脂塗装 2 回塗り)	テラス庇	アルミ製ポリカ平板 (パワーアルファ F 型 (出幅自在桁仕様): トステム同等品) 物干し金物付、コンクリート基礎	
	既設外壁鉄部下地調整 (C種) + サビ止塗装 (B種) の上 2 液形ポリウレタンエナメル塗装 (A種)	テラス土間	コンクリート金こて押え、W1,800×D600 (既設布基礎に金属製拡張アンカー D 10@150, 溶接金網 D 10@150)	
	外壁パネル目地及び建具廻りシーリング (変成シリコン系) 打替え			
	既設換気孔、建具撤去部開口部補修: 木枠下地の上ケイカル板 t=9.0貼 + 外周シーリング (変成シリコン系) 打	フェンス	メッシュフェンス H = 8 0 0 (A型50シリーズ: 朝日スチール工業同等品)、コンクリートブロック基礎 180×180×450	
	外壁断熱: 硬質発泡ウレタン吹付 t = 25 (難燃3級) A 通り、B 通り、1 通り、5 通り面は全面施工、界壁断熱: 硬質発泡ウレタン吹付 t = 25 (難燃3級)、PCパネル部は A 通り、B 通りから 5 0 0 まで施工 (ユニットバス部はユニットバスの幅まで)			

内部仕上表															
棟	階	室名	仕上げレベル FL _上	コンクリート上端 FL _上	床	巾木	腰壁	壁	天井	天井高	枠・顔縁	廻縁	カーテンレール	備考	
P	1	玄関	-205 - -215	- 2 0	土間コンクリート下地・モルタル金こて仕上げ	モルタル巾木 H=200	—	外壁側壁パネル t=25、間仕切パネル t=40 (ラワン合板 t=4.0) 下地の上ビニールクロス貼	軽天下地 + 化粧石膏ボード t=9.5	2,555	木・OSCL	塩ビ製	アルミ製 S	上り框、木見切	
		ダイニング・キッチン	± 0	- 3 5 0	断熱入パネル t=74 (ラワン合板 t=9.0) の上フローリング t=12.0貼	ソフト巾木 H = 60	—	外壁側壁パネル t=25、間仕切パネル t=40 (ラワン合板 t=4.0) 下地の上ビニールクロス貼 (一部化粧ケイカル板 t = 6.0貼)	軽天下地 + 化粧石膏ボード t=9.5	2,350	木・OSCL	塩ビ製	—	流し台 (L=1050)、コンロ台 (L=600)、水切カバー (ステンレス製)、巾着戸 (L=600)、吊戸棚 (L=1050)、水切棚 (L=900 2段)	
		便所	± 0	- 3 5 0	断熱入パネル t=74 (ラワン合板 t=9.0) の上ラワン合板 t=12.0下地クッションフロアー t=1.8貼	ソフト巾木 H = 60	—	外壁側壁パネル t=25、間仕切パネル t=40 (ラワン合板 t=4.0 耐水) 下地の上ビニールクロス貼	軽天下地 + 化粧石膏ボード t=9.5	2,350	木・OSCL	塩ビ製	—	櫃付手摺	
		洗面脱衣	± 0	- 3 5 0	断熱入パネル t=74 (ラワン合板 t=9.0) の上ラワン合板 t=12.0下地クッションフロアー t=1.8貼	ソフト巾木 H = 60	—	外壁側壁パネル t=25、間仕切パネル t=40 (ラワン合板 t=4.0 耐水) 下地の上ビニールクロス貼	軽天下地 + 化粧石膏ボード t=9.5	2,350	木・OSCL	塩ビ製	—	洗面化粧台、ミラーキャビネット、洗濯パン	
		浴室 (UB)	- 1 2	- 3 0 5	ユニットバス 1 2 1 6 仕様		—	ユニットバス 1 2 1 6 仕様	ユニットバス 1 2 1 6 仕様	2,350	ユニットバス仕様	—	—		
		居室 (1)	± 0	- 3 5 0	断熱入パネル t=74 (ラワン合板 t=9.0) の上フローリング t=12.0貼	ソフト巾木 H = 60	—	外壁側壁パネル t=25、間仕切パネル t=40 (ラワン合板 t=4.0) 下地の上ビニールクロス貼	軽天下地 + 化粧石膏ボード t=9.5	2,350	木・OSCL	塩ビ製	アルミ製 W		木製長押 25×90
		居室 (2)	± 0	- 3 5 0	断熱入パネル t=74 (ラワン合板 t=9.0) の上フローリング t=12.0貼	ソフト巾木 H = 60	—	外壁側壁パネル t=25、間仕切パネル t=40 (ラワン合板 t=4.0) 下地の上ビニールクロス貼	軽天下地 + 化粧石膏ボード t=9.5	2,350	木・OSCL	塩ビ製	アルミ製 W		
		押入 (1)	± 0	- 3 5 0	断熱入パネル t=74 (ラワン合板 t=9.0) の上ラワン合板 t=12.0貼		雑巾摺	—	界壁側壁パネル t=25、間仕切パネル t=40 (ラワン合板 t=4.0) 素地	軽天下地の上ラワン合板 t = 4.0貼	2,350	木・OSCL	木製	—	造作棚 (中段・枕棚): ラワン合板フラッシュパネル t=35 (ラワン合板 t=4.0)
		押入 (2)	± 0	- 3 5 0	断熱入パネル t=74 (ラワン合板 t=9.0) の上ラワン合板 t=12.0貼		雑巾摺	—	界壁側壁パネル t=25、間仕切パネル t=40 (ラワン合板 t=4.0) 素地	軽天下地の上ラワン合板 t = 4.0貼	2,350	木・OSCL	木製	—	造作棚 (中段・枕棚): ラワン合板フラッシュパネル t=35 (ラワン合板 t=4.0)、ステンレスパイプ 30

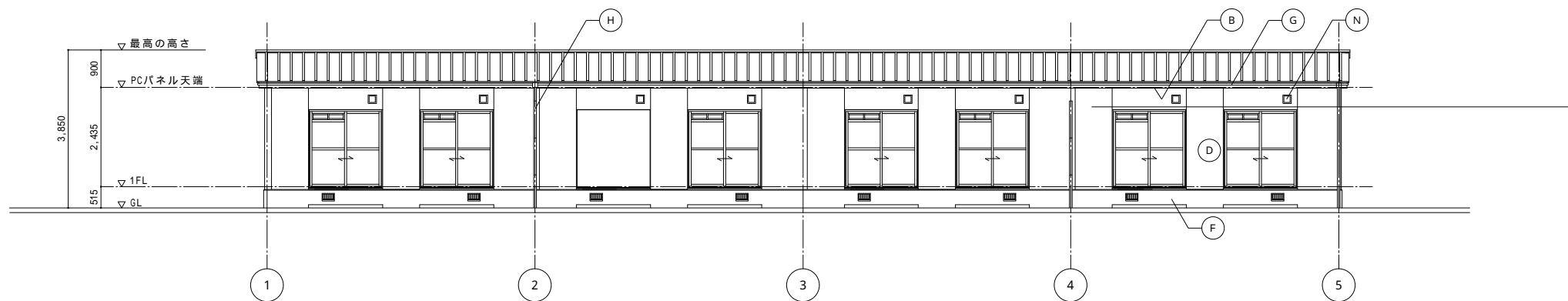
内装の防火材料と認定番号				シックハウス対策				塗料の種別と略号				防火・耐火リスト			
準不燃	QM-9828	石膏ボード	(準不燃石膏ボード 9.5mm)	・内装仕上は、全て F (規制対象外建材) とする。	合成樹脂塗料	OP	合成樹脂調合ペイント	FUE	ふっ素樹脂エナメル	主要構造部の制限: 無し					
不燃	NM-8619	石膏ボード	(不燃石膏ボード 12.5mm・15.0mm)	・接着剤は F (規制対象外建材) とする。	VE	塩化ビニル樹脂エナメル	XE	エポキシ樹脂エナメル							
準不燃	QM-9824	化粧石膏ボード	(準不燃ジブトーン 9.5mm)	・断熱材は F (規制対象外建材) とする。	AE	アクリル樹脂エナメル	CE	塩化ゴム系塗料							
不燃	NM-0441	化粧石膏ボード	(不燃ジブトーン 9.5mm)	・流し台等の備品は低ホルムアルデヒド品とする。	FE	フタル酸樹脂エナメル	LE	ラッカーエナメル							
準不燃	QM-9826	シーリング石膏ボード	(準不燃防水ボード 9.5mm・12.5mm・15.0mm)	・クロルピリホスは使用しない。	UE	ポリウレタン樹脂エナメル									
不燃	NM-9639	シーリング石膏ボード	(不燃防水ボード 12.5mm・15.0mm)		GEP	つや有り合成樹脂									
不燃	NM-8579	化粧ケイ酸カルシウム板	(化粧ケイカル板 6.0mm)		エマルジョン塗料	EP-1	合成樹脂エマルジョンペイント (アクリル系)								
					EP-2	合成樹脂エマルジョンペイント (ビニル系)									
					模様塗料	TEP	合成樹脂エマルジョン模様塗料								
					透明塗料	MP	多彩模様塗料								
					LC	ラッカークリア									
					AC	アクリル樹脂ラッカークリア									
					UC	ポリウレタン樹脂ラッカークリア									
					MR	マステック塗材									
					OS	オイルステイン									
					FLP	フロアー防塵塗料									
					W	ワックス									



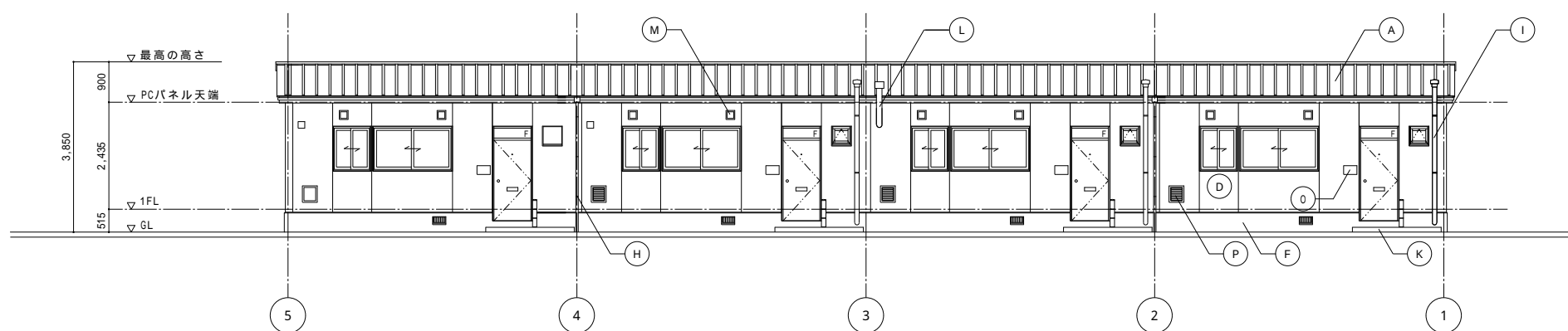
付近見取図

配置図 1/300

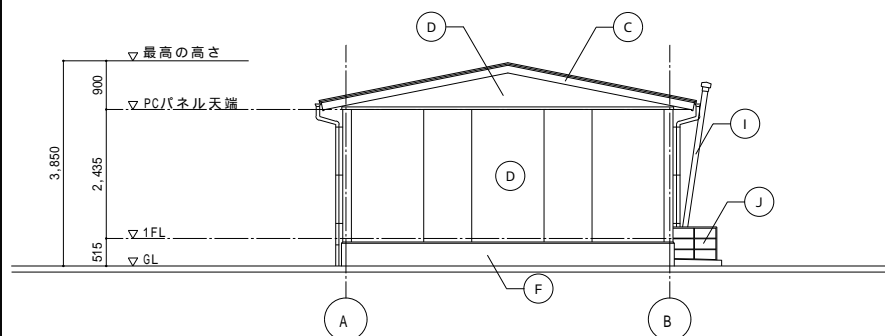
	可児市役所		承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市市営東野住宅K棟改修	工事設計図
	建設部施設住宅課					建 - 5	図面名	配置図・付近見取図	scale 1/300



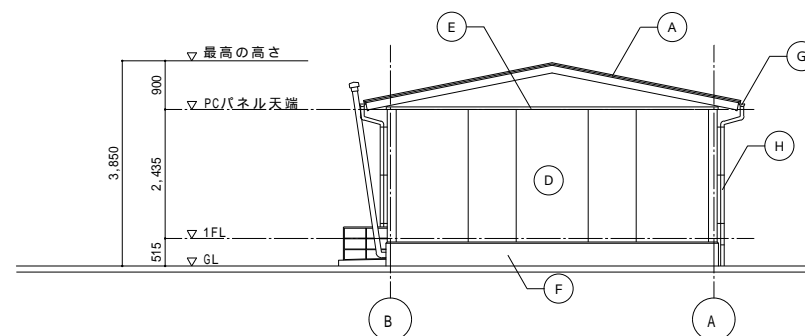
南側立面図 1/100



北側立面図 1/100



東側立面図 1/100



西側立面図 1/100

外部仕上凡例

- (A) 屋根：カラ・鋼板 t = 0.4 瓦葺き (H=30 働き巾418)
- (B) 軒天井：石綿スレート板貼
- (C) 破風：石綿スレート板貼
- (D) 外壁：吹付
- (E) 見切：C型鋼の上合成樹脂調合ペイント塗り
- (F) 巾木：コンクリート打放し補修
- (G) 軒樋：塩ビ製半丸型
- (H) 縦樋：塩ビ製55
- (I) 鼻突：塩ビ製100、ベンチレータ 固定式
- (J) 袖壁：補強コンクリートブロック積
- (K) ポーチ：コンクリート下地の上モルタル金ゴテ押え
- (L) 煙突
- (M) 換気扇：K J 型
- (N) 換気孔：レジスター
- (O) 表札：樹脂製
- (P) 給排水孔：W335 × H460



可児市役所
建設部施設住宅課

承認

設計

設計年月日

NO.

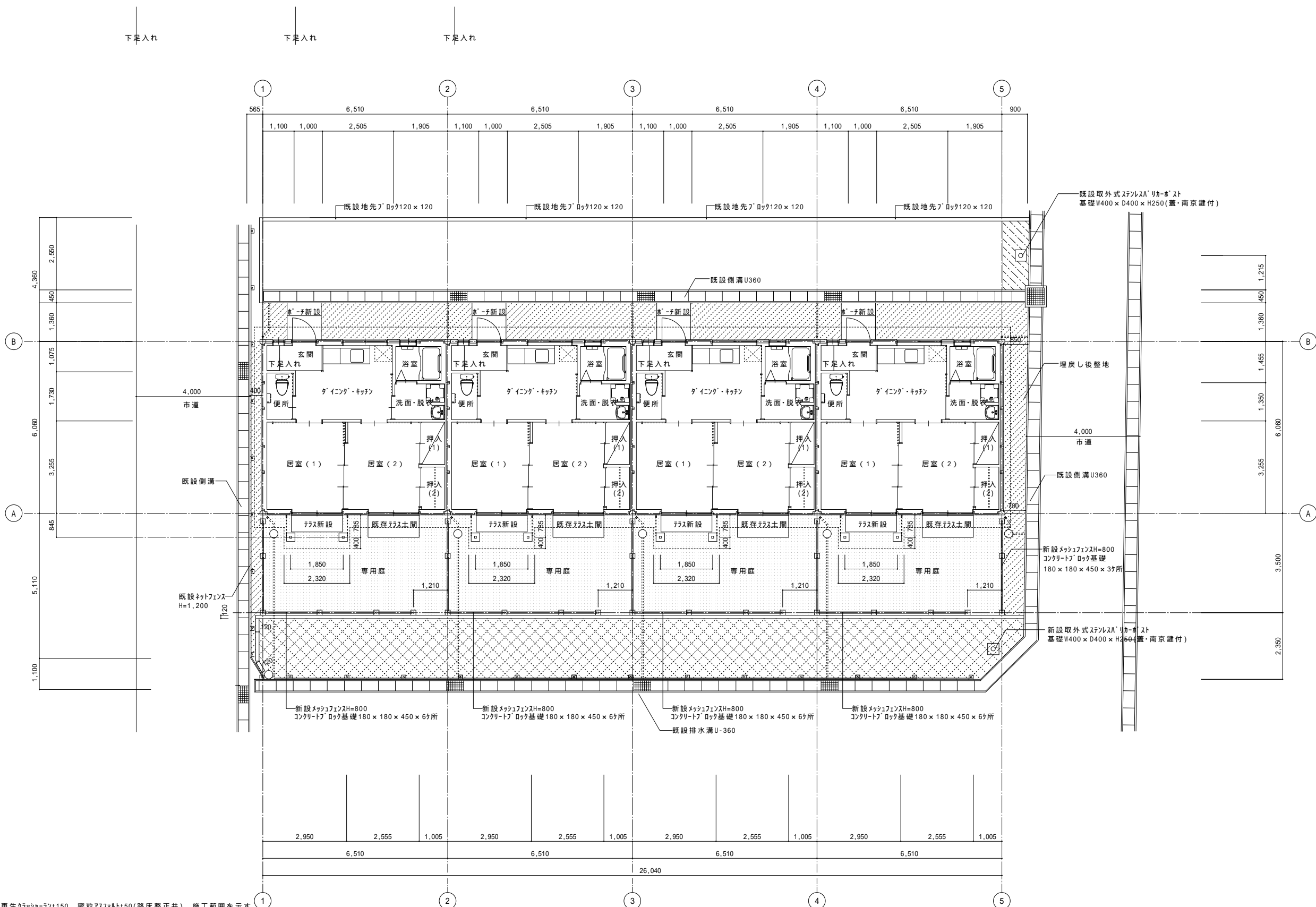
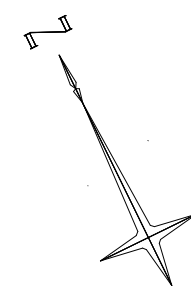
工事名 可児市市営東野住宅 K 棟 改修

工事設計図

建 - 7

図面名 現況立面図

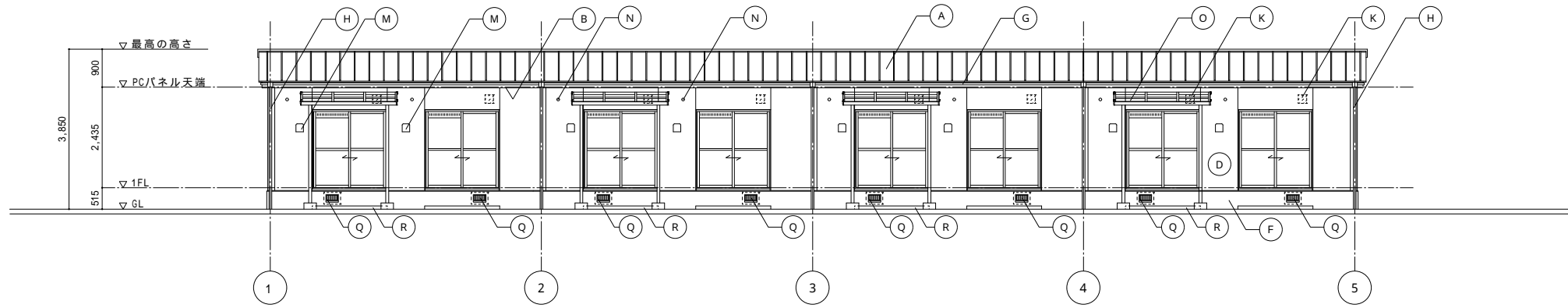
scale 1/100



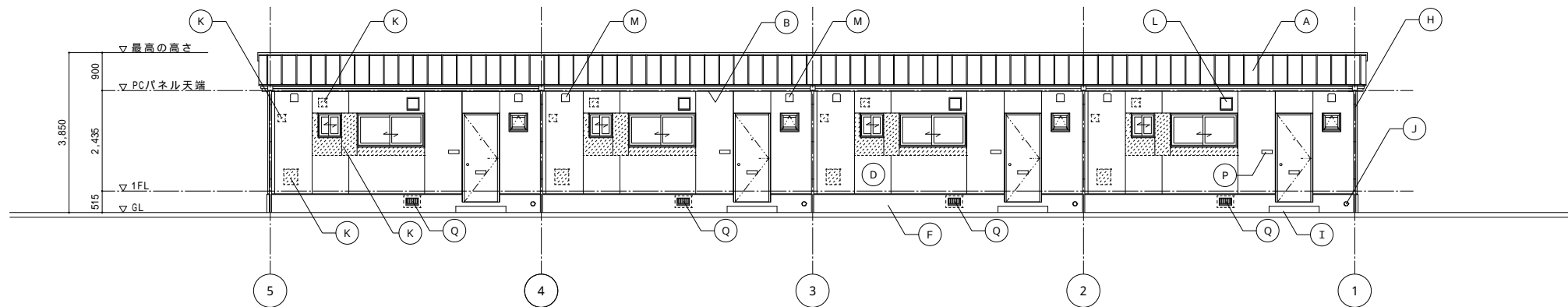
- 凡例**
- : すきとり・再生クワッシャーラン1150、密粒アスファルト150(路床整正共) 施工範囲を示す
既設舗装端部カッター入れ共
 - : すきとり・再生クワッシャーラン1150、密粒アスファルト150(路床整正共) 施工範囲を示す
 - : 埋め戻し後、整地及び単密度砕石(C30)敷き160施工範囲を示す
 - : 底土すきとり及び山砂敷込150の施工範囲を示す

改修後平面図 1/100

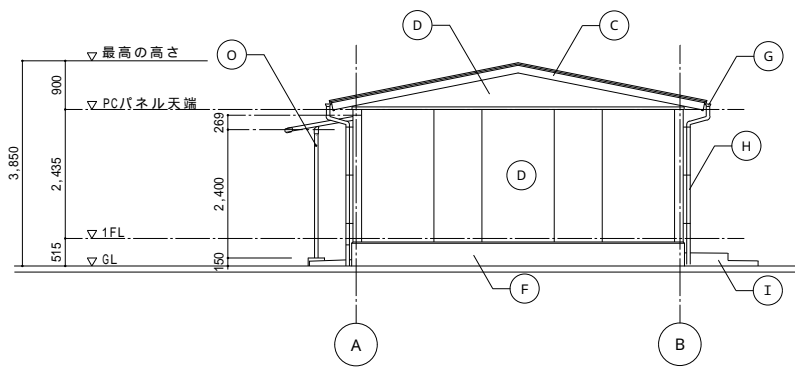
	可児市役所	承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市市営東野住宅K棟改修	工事設計図
	建設部施設住宅課				建 - 8	図面名	改修後平面図	scale 1/100



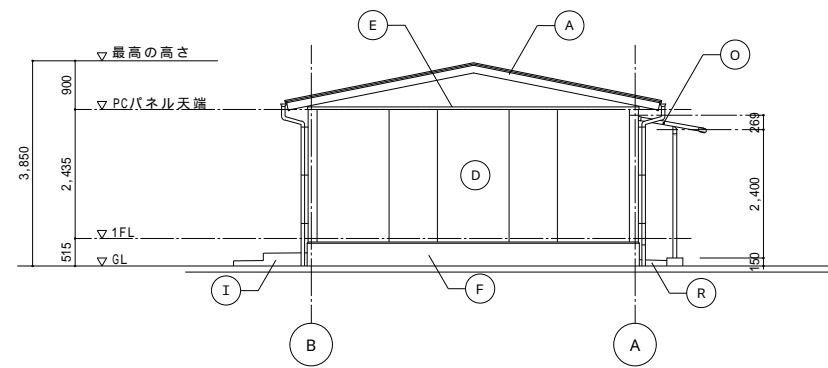
南側立面図 1/100



北側立面図 1/100



東側立面図 1/100



西側立面図 1/100

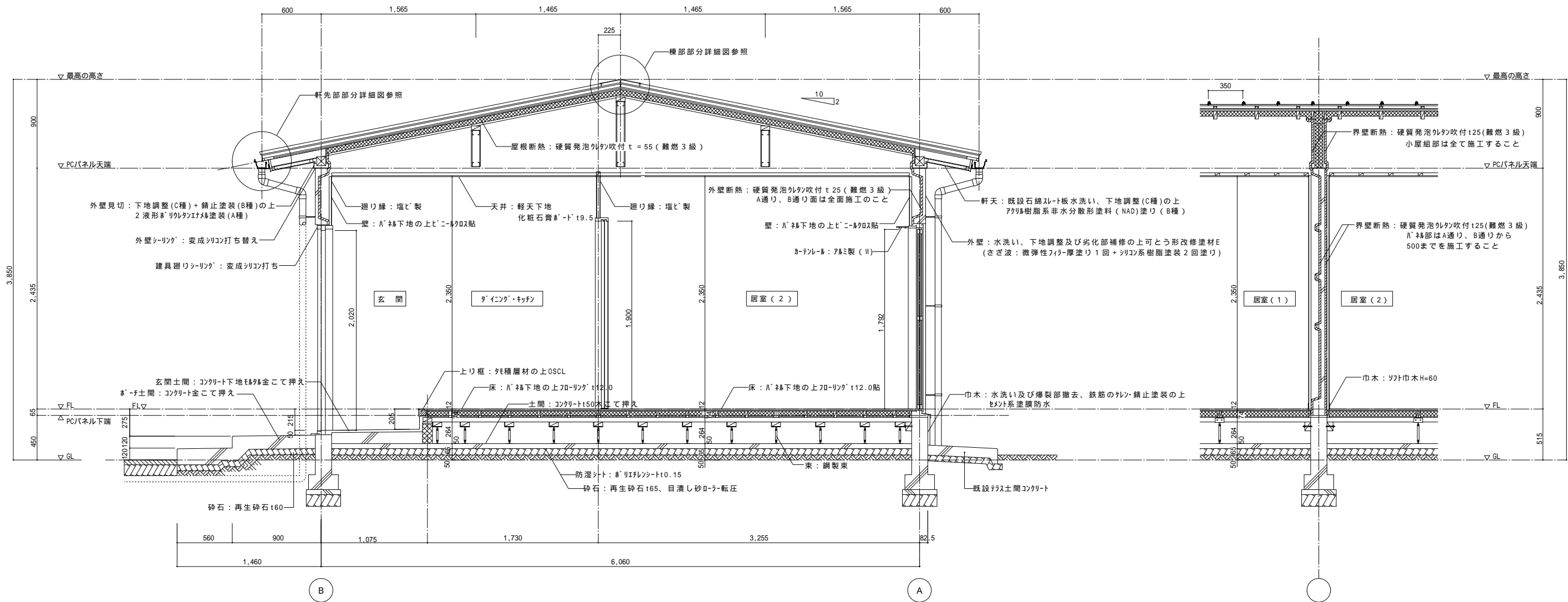
外部仕上凡例

- (A) 屋根：既設瓦葺きの上耐水合板 $t=12$ 貼+アスファルトルーフィング940下地、立平葺（SK式エバールーフたてひら350：メト-カケフ同等品）カラーガルバリウム鋼板 $t=0.4$
- (B) 軒天井：既設石綿スレート貼水洗い、下地調整（C種）の上アクリル樹脂系非水分散形塗料（NAD）塗り（B種）
- (C) 破風：既設石綿スレート貼の上カラーガルバリウム鋼板 $t=0.4$ 加工
- (D) 外壁：既設水洗い、下地調整及び劣化部補修の上可とう形改修塗材E（さざ波）
- (E) 見切：既設鉄部下地調整（C種）+錆止塗装（B種）の上2液形ポリウレタンエナメル塗装（A種）
- (F) 巾木：既設コンクリート巾木腐裂部はつり・撤去、鉄筋露出部ケレンがけ・防錆プライマー塗、樹脂モルタル補修の上塗膜防水（パラテックスB-2工法同等品）
- (G) 軒樋：塩ビ製角型樋（PC-50カラー：パナソニック同等品）
- (H) 壁樋：塩ビ製60
- (I) ポ-チ：コンクリ-ト金ゴテ押え
- (J) 奥突穴補修：モルタル詰め
- (K) 外壁開口補修：木下地の上ケイカル板 $t=12.0$ 貼、廻りシーリング（変成シリコン系）
- (L) 換気扇フード
- (M) 換気孔フード
- (N) 空調機用スリーブ
- (O) テラス庇：アルミ製ポリカ平板（パワーアルファF型出幅自在桁仕様：トステム同等品）、物干し金具付、基礎 $300 \times 300 \times 300$
- (P) 表札（DK5001QAMH：大建プラスチック同等品）
- (Q) 床下換気口交換 $W300 \times H150$ （12箇所・スフィン製 防虫網付）
- (R) 居室（1）南外部テラス土間：コンクリ-ト金ゴテ押え



可児市役所
建設部施設住宅課

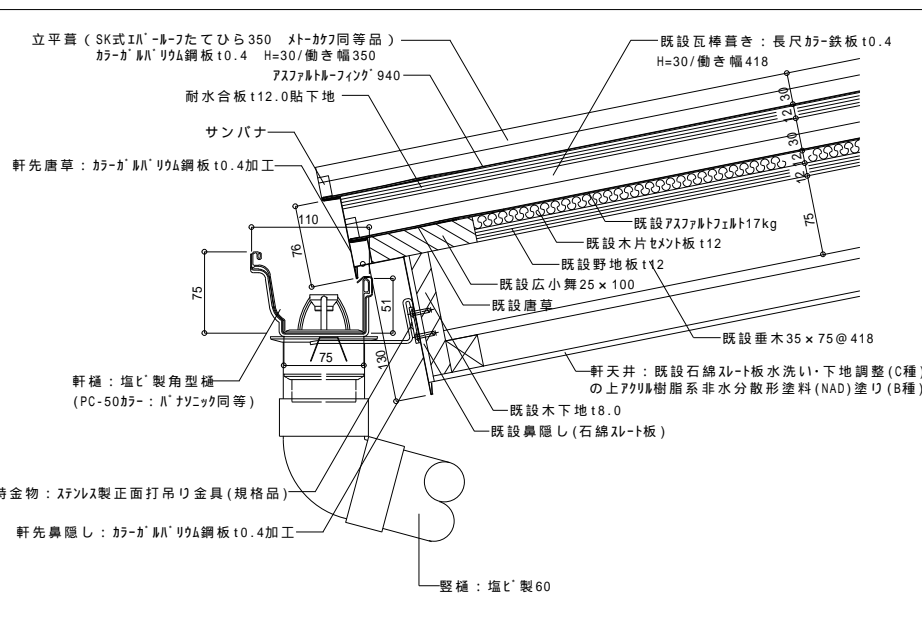
承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市市営東野住宅K棟改修	工事設計図
			建-9	図面名	改修後立面図	scale 1/100



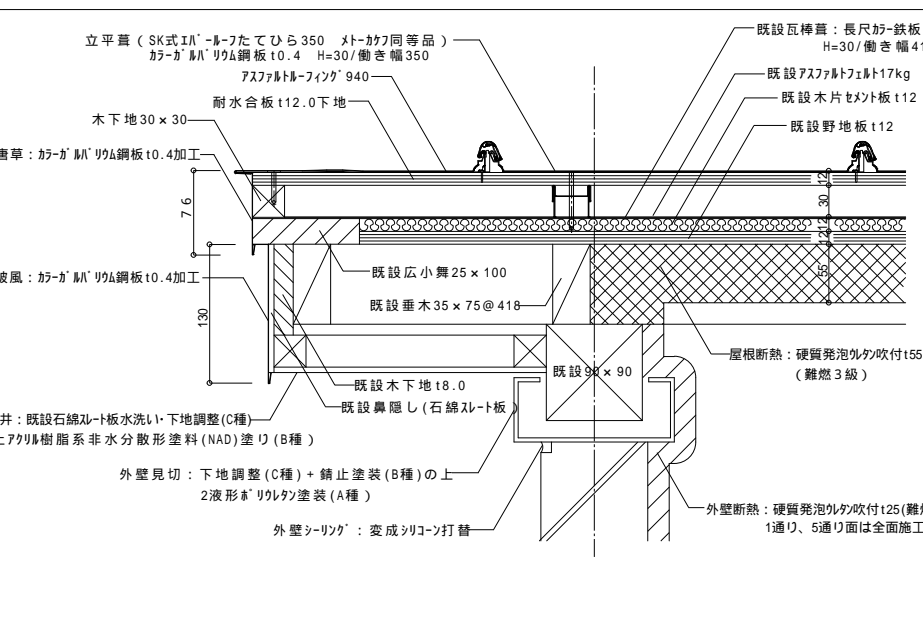
改修後矩計図(1) 1/30

改修後矩計図(2) 1/30

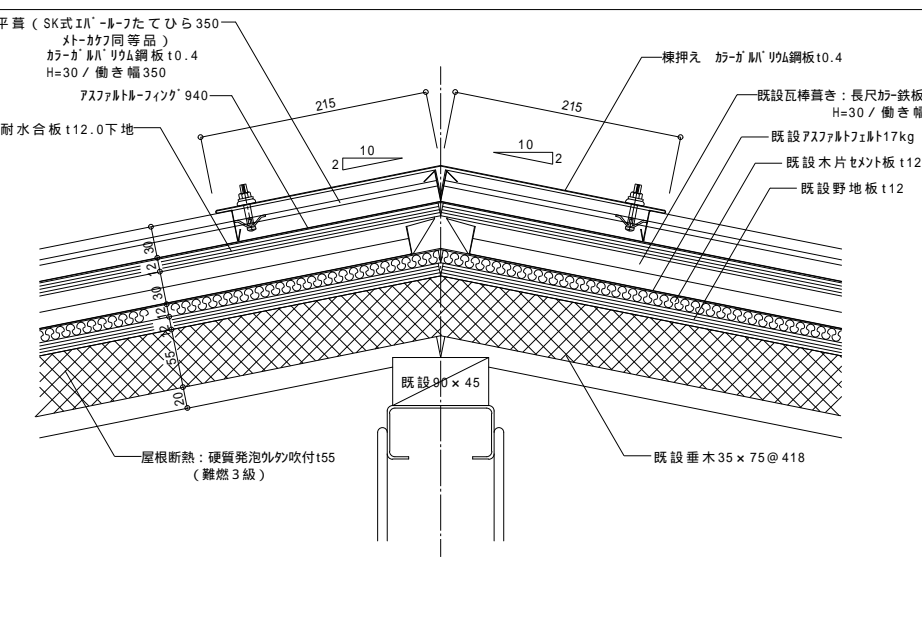
軒先部分詳細図 1/5



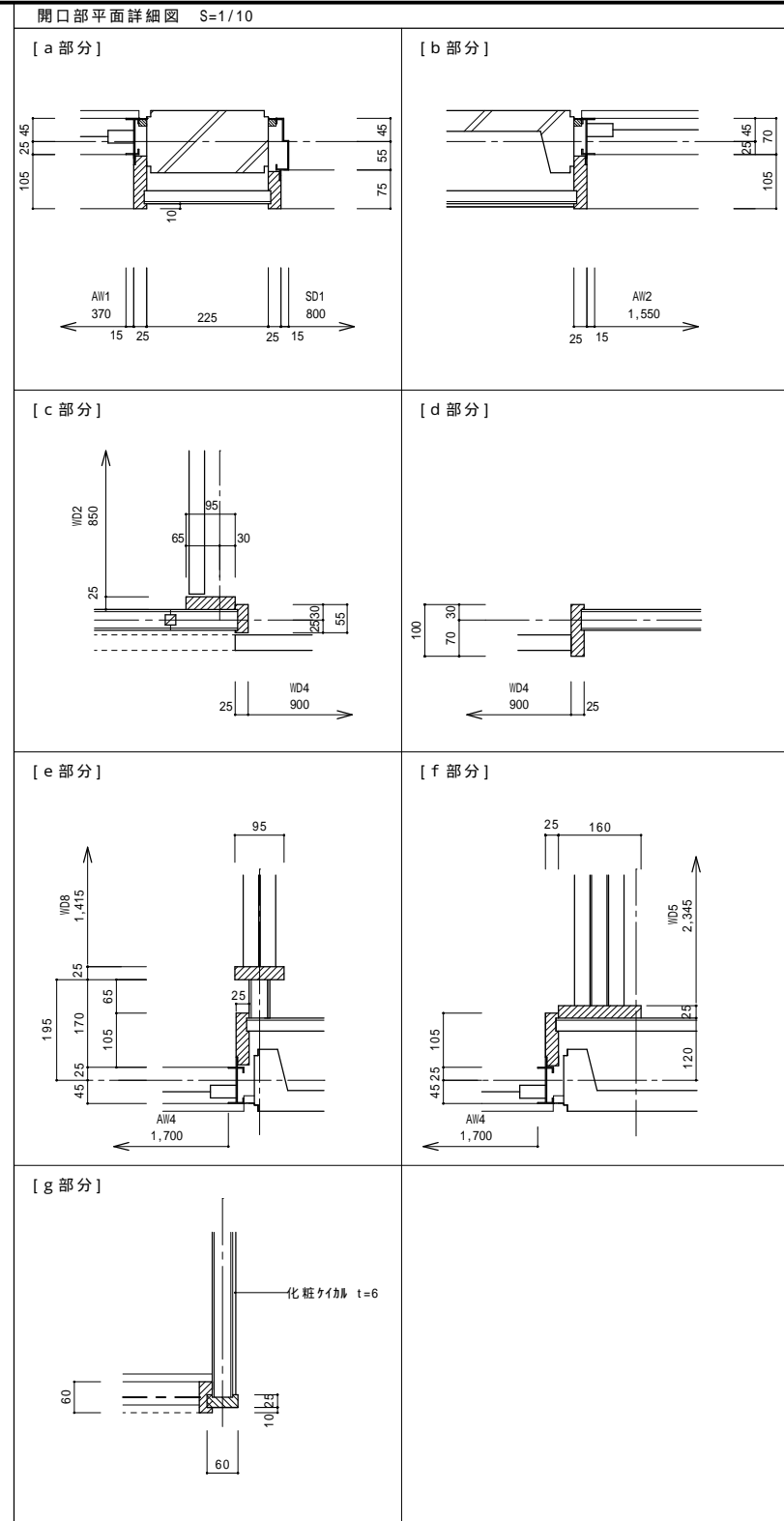
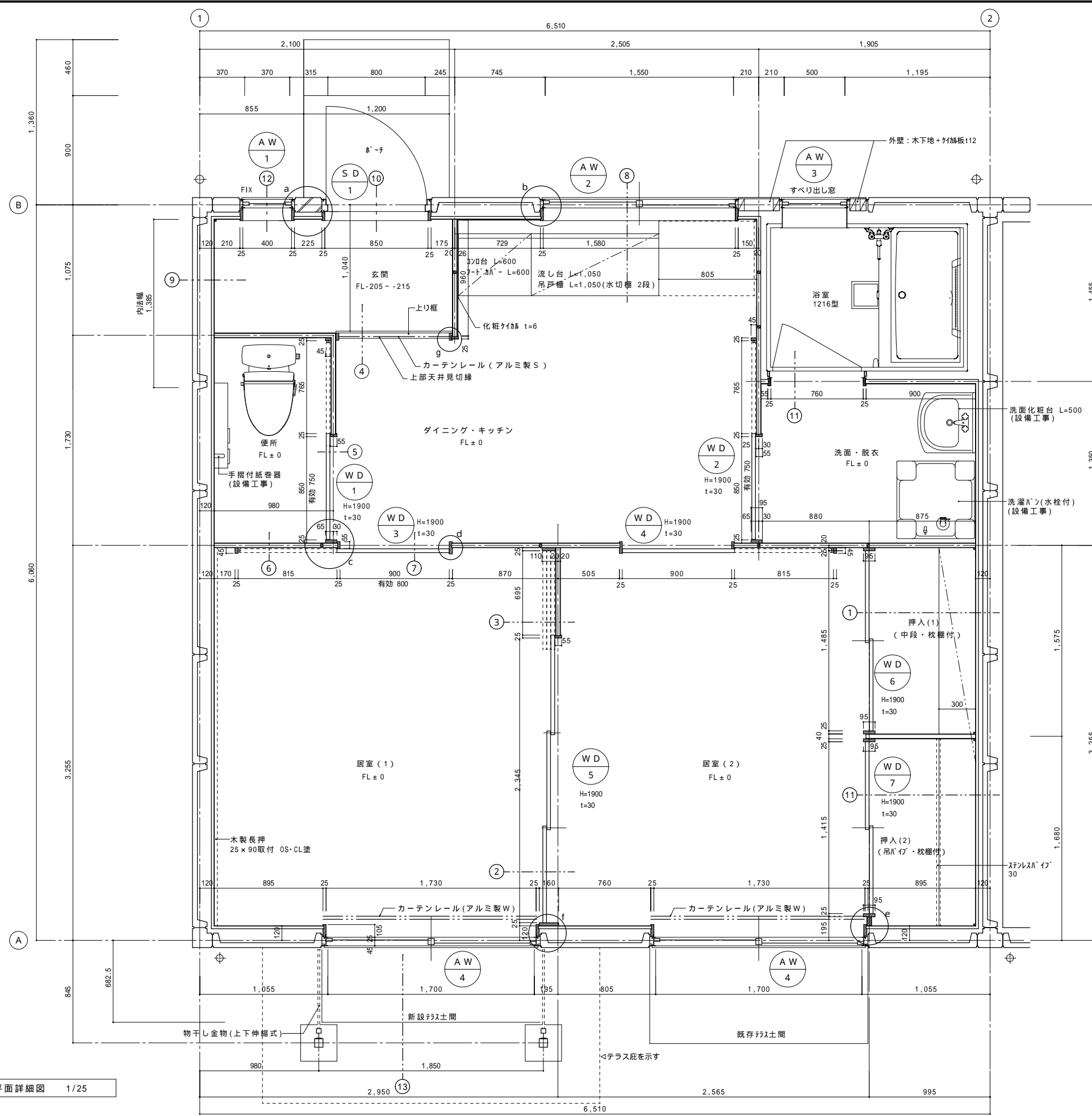
妻側部分詳細図 1/5



妻側部分詳細図 1/5



	可児市役所 建設部施設住宅課	承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市市営東野住宅K棟改修	工事設計図
					建 - 10	図面名	改修後矩計図、部分詳細図	scale 1/50



凡例
 (---) 断面詳細図切断位置
 造作材表記
 [斜線] 米梅材
 [点線] 米ヒバ材
 FL = 設計GL+515
 特記なき限り造作材はOSCL塗りとする(塗装工事)

改修後平面詳細図 1/25

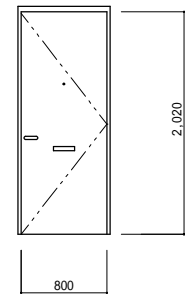
建具特記仕様書

特記事項 (注) 特記なき限り下記事項に依る。

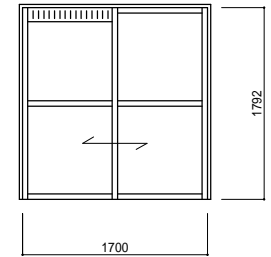
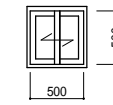
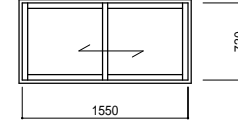
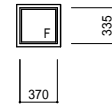
本表は、設計図に示す建具及び、特記事項、標準詳細を一括して表わす。
戸棚及び、カウンターその他これらに類する建具は詳細図に依るものとし、
本表には含まない。

- ・姿図記入寸法 W X H は各々有効開口寸法を示す。
- ・排煙用ランマは建築基準法に定める開放時の操作金具、操作標示を設ける。
- ・戸当りは、ゴム付あり止め兼戸当りとする。(全ての開戸)
- ・金物の材質は全て、ステンレス製とする。
- ・木製建具も全て施工図提出承認後作成のこと。

符号・形式	SD 1 スチール製片開き扉(ガラス+充填構造)	○	○	○
位置・箇所数	玄関・4箇所			
見込	枠 - 扉			
硝子	—			
金物	レバーハンドル錠、丁番、ドアチェック、郵便投入口、郵便受箱、 防犯メガネ、ドアガード 他一式			
仕上	S・焼付塗装鋼板(枠共)			
備考	ステンレス畜福、三方枠木・OSCL			



符号・形式	AW 1 アルミ製Fix窓	AW 2 アルミ製引違い窓	AW 3 アルミ製引違い窓	AW 4 アルミ製引違い窓(換気框付)
位置・箇所数	物入・4箇所	ダイニング・キッチン・4箇所	浴室・4箇所	居室(1),(2)・8箇所
見込	枠 70	枠 70	枠 70	枠 70
硝子	F4	複層ガラスP3+A6+F4	F4	上部複層ガラスP3+A6+P3、下部複層ガラスP3+A6+F4
金物	—	クレセント	クレセント	クレセント
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)
備考	額縁木・OSCL、アルミ水切	額縁木・OSCL、アルミ水切、樹脂製網戸	額縁ユニットバス工事、アルミ水切、樹脂製網戸	額縁木・OSCL、アルミ水切、樹脂製網戸



符号・形式	○	○	○	○
位置・箇所数				
見込				
硝子				
金物				
仕上				
備考				

建具の材種と符号	
符号	材 質
STD	ステンレス製扉
AD	アルミ製扉
SD	スチール製扉
WD	木製扉
F	襖
S	障子
SS	スチール製シャッター
SP	スチールパーティション
AP	アルミパーティション

シンボル		鍵の種類と符号	
	材質の符号	符号	種 類
	整理番号		
建具の程度			
機 構	強 度	気 密 性	水 密 性
(単 位)	kgf/m ²	m ³ /hm ²	kgf/m ²
引違いサッシ	S-4	A-3	W-4
打倒しサッシ	△	△	△
ずべり出しサッシ			
はめ殺しサッシ	△	△	△
片引きサッシ	△	△	△
縦軸ずべり出し			
外開きサッシ	△	△	△

MW	モノロックタイプ両面錠
MS	モノロックタイプ片面錠
MD	モノロックタイプ両仕切錠
EL	非常用錠
IL	インテグラルロック
LH	レバ・ハンドル錠

ガラスの種類と符号					
符号	種 類	符号	種 類	符号	種 類
P	フロートガラス	PW	網入フロートガラス	FH	フロアヒンジ
F	型ガラス	FW	網入型ガラス	PH	ピボットヒンジ
W	網入ガラス	HS	熱線吸収透明ガラス	DC	ドアチェック
H	熱線吸収ガラス	HP	熱線吸収フロートガラス	AP	アングルピース
T	強化ガラス	HF	熱線吸収網入型ガラス		
D	複層ガラス	TS	強化透明ガラス		
L	合せガラス	TP	強化フロートガラス		
S	装飾用ガラス	TF	強化型ガラス		



建具特記仕様書

特記事項 注)特記なき限り下記事項に依る。

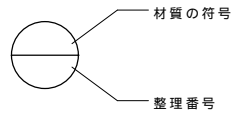
本表は、設計図に示す建具及び、特記事項、標準詳細を一括して表わす。
戸棚及び、カウンターその他これらに類する建具は詳細図に依るものとし、
本表には含まない。

- ・姿図記入寸法 W X H は各々有効開口寸法を示す。
- ・排煙用ランマは建築基準法に定める開放時の操作金具、操作標示を設ける。
- ・戸当りは、ゴム付あり止め兼戸当りとする。(全ての開戸)
- ・金物の材質は全て、ステンレス製とする。
- ・木製建具も全て施工図提出承認後作成のこと。

建具の材種と符号

符号	材 質	符号	材 質
S T D	ステンレス製扉	A W	アルミ製窓
A D	アルミ製扉	W W	木製窓
S D	スチール製扉	T B	
W D	木製扉	A G	アルミ製ガラリ
F	襖	W G	木製ガラリ
S	障子		
		S S	スチール製シャッター
S P	スチールパーティション	S T S	ステンレス製シャッター
A P	アルミパーティション		

シンボル



鍵の種類と符号

符号	種 類
C P	シリンダー箱錠
C L	棒錠箱錠
P D	シリンダー本錠錠
L D	棒錠本錠錠
N L	ナイトラッチ
C	空 錠

建 具 の 程 度

機 構	強 度	気 密 性	水 密 性	M W	種 類
(単 位)	kg f / m ²	m ³ / h m ²	kg f / m ²	M S	モノロックタイプ両面錠
引違いサッシ	S-4	A-3	W-4	M D	モノロックタイプ片面錠
打倒しサッシ	△	△	△	M S	モノロックタイプ間仕切錠
ずべり出しサッシ				E L	非常用錠
はめ殺しサッシ	△	△	△	I L	インテグラルロック
片引きサッシ	△	△	△	L H	レバ・ハンドル錠
縦軸ずべり出し					
外開キサッシ	△	△	△		

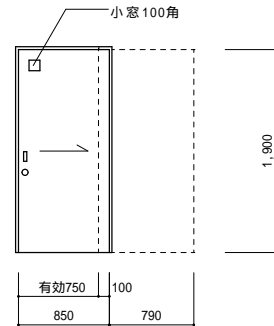
ガラスの種類と符号

符 号	種 類	符 号	種 類	符 号	種 類
P	フロートガラス	P W	網入フロートガラス	F H	フロアヒンジ
F	型ガラス	F W	網入型ガラス	P H	ピボットヒンジ
W	網入ガラス	H S	熱線吸収透明ガラス	D C	ドアチェック
H	熱線吸収ガラス	H P	熱線吸収フロートガラス	A P	アングルピース
T	強化ガラス	H F W	熱線吸収網入型ガラス		
D	複層ガラス	T S	強化透明ガラス		
L	合せガラス	T P	強化フロートガラス		
S	装飾用ガラス	T F	強化型ガラス		

符号・形式

WD 1 木製片引き戸

姿 図



位置・箇所数

便所・4箇所

見 込

枠 95 扉 30

硝 子

樹脂ガラス t = 2.7

金 物

引手, 表示錠, 戸車, アルミ台付レール

仕 上

ポリ合板

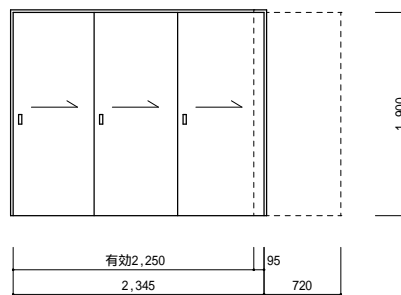
備 考

三方枠木・OSCL

符号・形式

WD 5 木製3枚片引き戸

姿 図



位置・箇所数

居室(2)・4箇所

見 込

枠 160 扉 30

硝 子

樹脂ガラス t = 2.7

金 物

引手, 戸車, アルミ台付レール

仕 上

ポリ合板

備 考

三方枠木・OSCL

符号・形式

WD 6 木製引違い戸

姿 図



位置・箇所数

居室(1)・4箇所

見 込

枠 100 扉 30

硝 子

樹脂ガラス t = 2.7

金 物

引手, 戸車, アルミ台付レール

仕 上

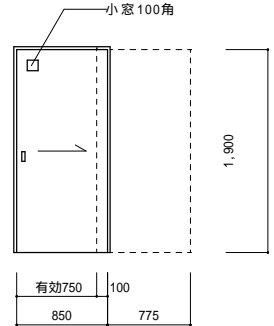
ポリ合板

備 考

三方枠木・OSCL

WD 2 木製片引き戸

姿 図



位置・箇所数

洗面脱衣・4箇所

見 込

枠 95 扉 30

硝 子

樹脂ガラス t = 2.7

金 物

引手, 戸車, アルミ台付レール

仕 上

ポリ合板

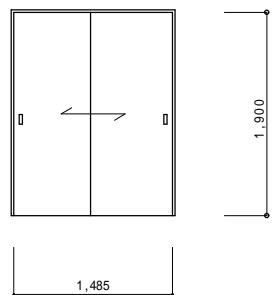
備 考

三方枠木・OSCL

符号・形式

WD 7 木製引違い戸

姿 図



位置・箇所数

居室(2)・4箇所

見 込

枠 80 扉 30

硝 子

樹脂ガラス t = 2.7

金 物

引手, 戸車, アルミ台付レール

仕 上

表: ポリ合板, 裏: ラワン合板

備 考

三方枠木・OSCL

符号・形式

WD 3 木製片引き戸

姿 図



位置・箇所数

居室(2)・4箇所

見 込

枠 100 扉 30

硝 子

樹脂ガラス t = 2.7

金 物

引手, 戸車, アルミ台付レール

仕 上

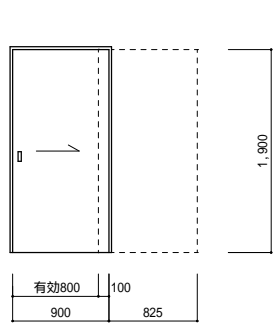
ポリ合板

備 考

三方枠木・OSCL

WD 4 木製片引き戸

姿 図



位置・箇所数

居室(2)・4箇所

見 込

枠 100 扉 30

硝 子

樹脂ガラス t = 2.7

金 物

引手, 戸車, アルミ台付レール

仕 上

ポリ合板

備 考

三方枠木・OSCL

符号・形式

WD 4 木製引違い戸

姿 図



可児市役所
建設部施設住宅課

承認

設計

設計年月日

NO.

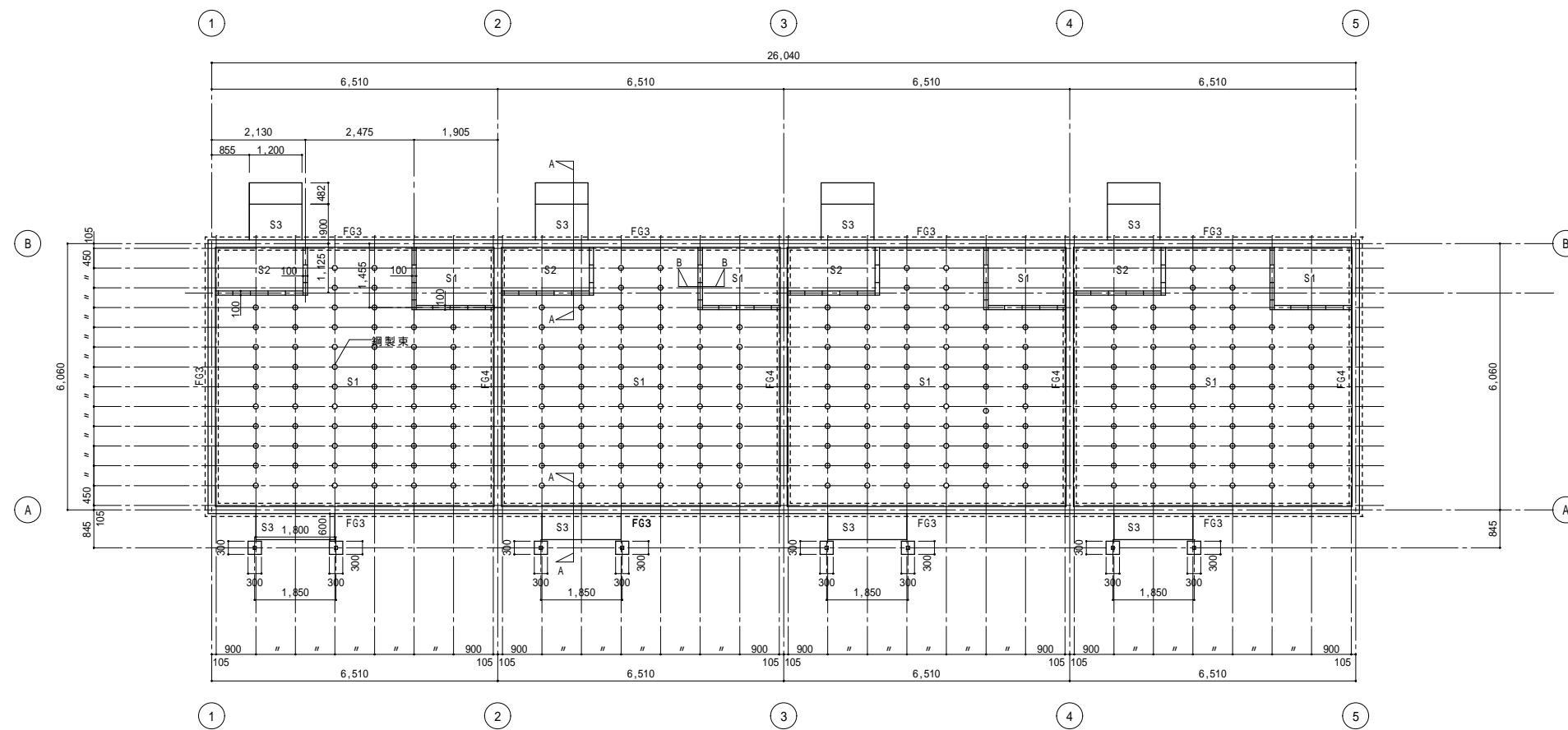
工事名 可児市市営東野住宅K棟改修

工事設計図

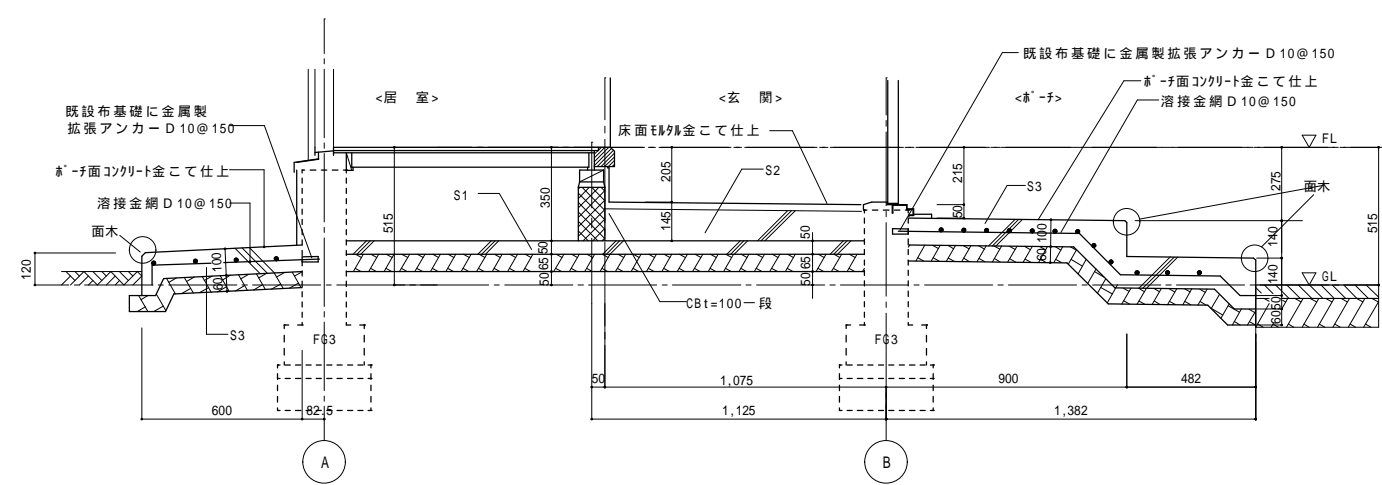
建 - 13

図面名 建具表(2)

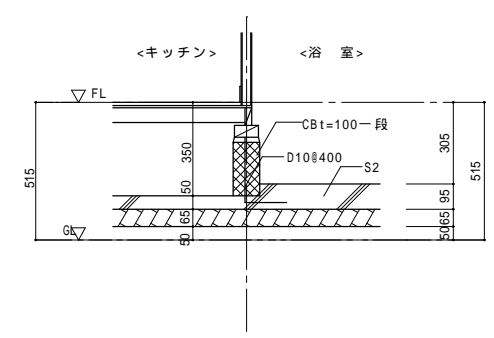
scale 1/50



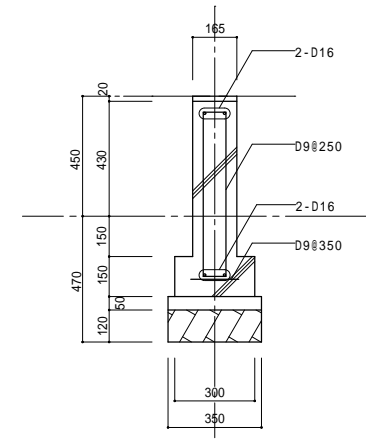
改修後基礎伏図 1/100



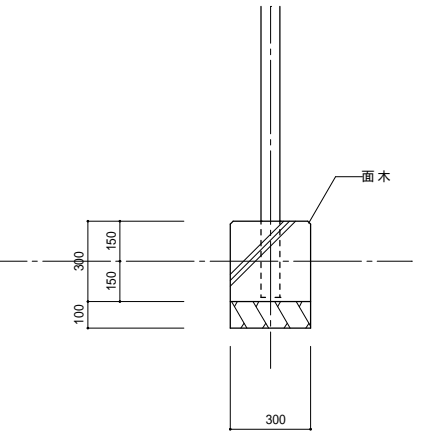
A-A 断面詳細図 1/20



B-B 断面詳細図 1/20



既設基礎 (FG3,FG4) 参考図 1/20



新設テラス基礎詳細図 1/20



可児市役所
建設部施設住宅課

承認

設計

設計年月日

NO.

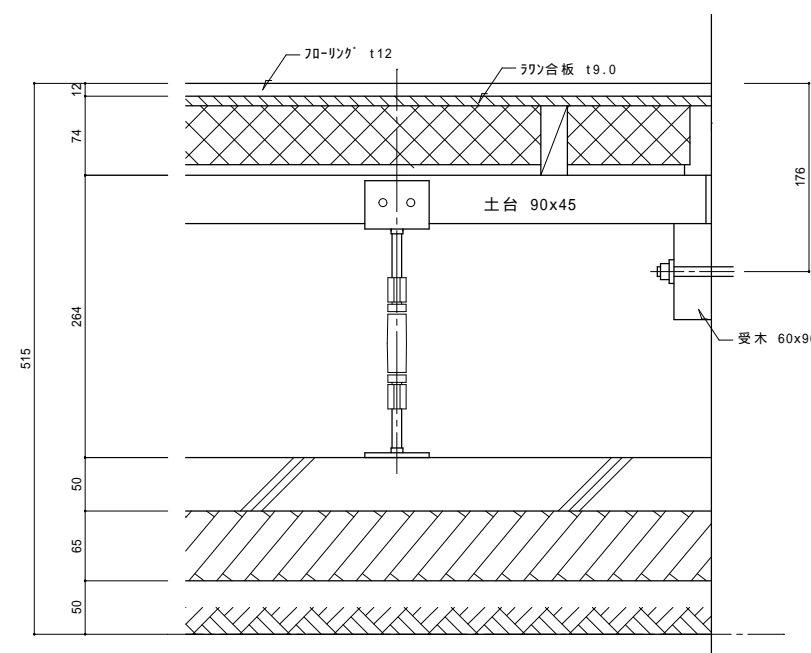
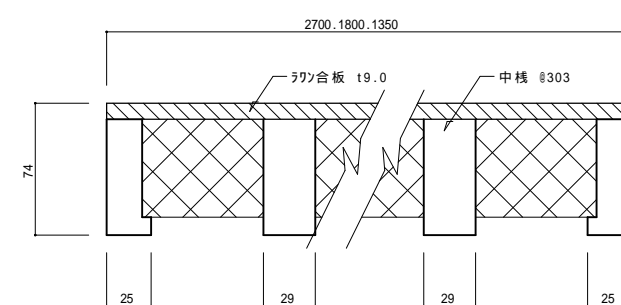
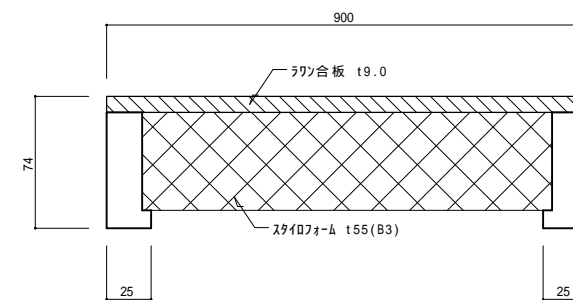
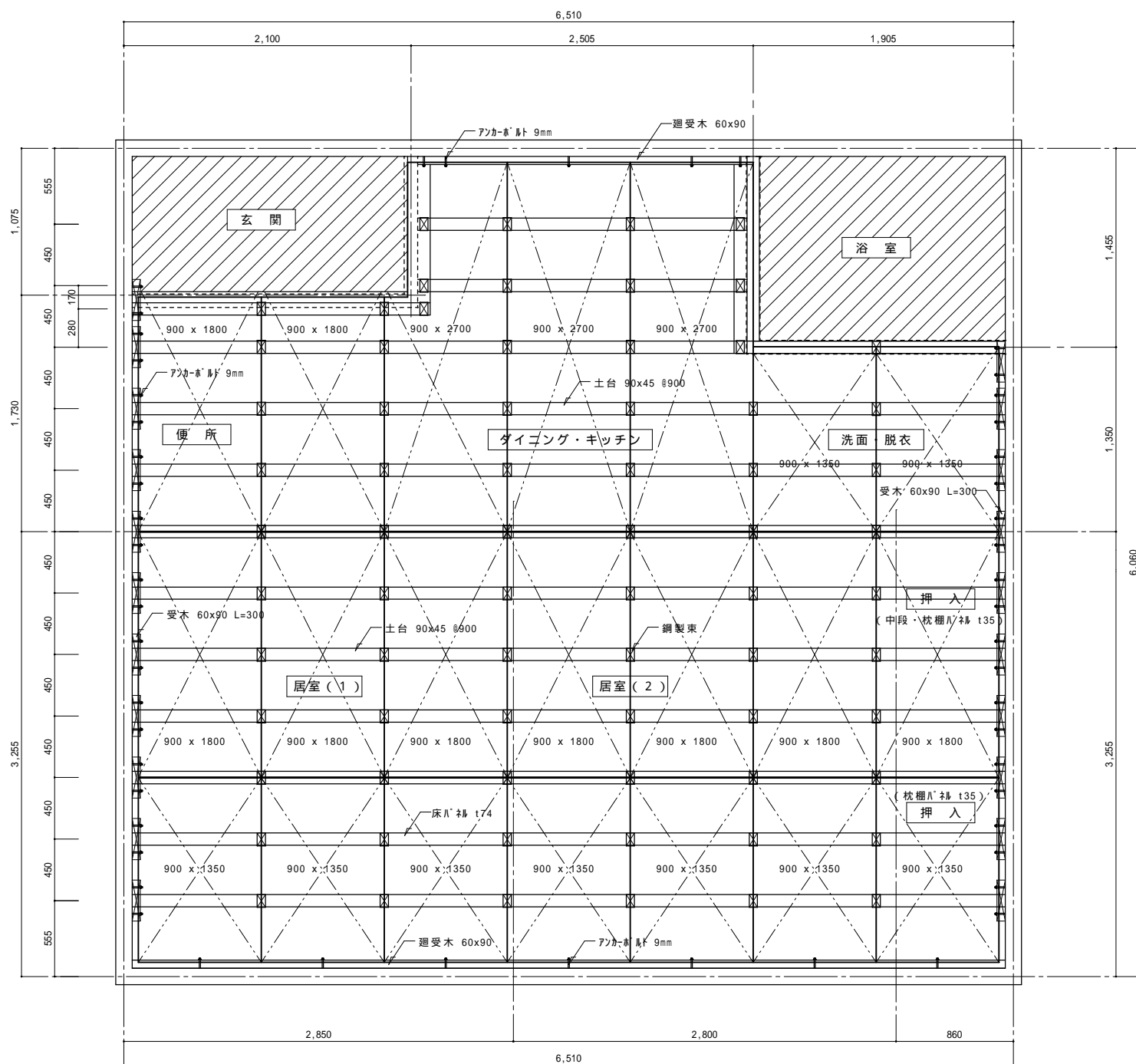
工事名 可児市市営東野住宅 K 棟 改修

工事設計図

建 - 14

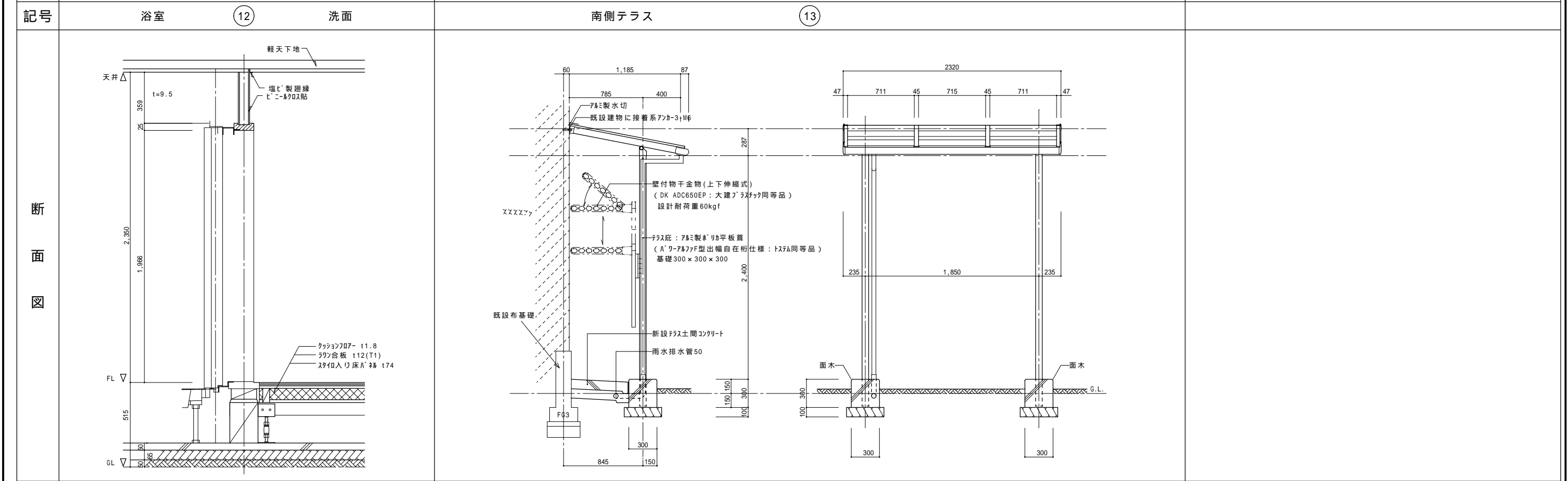
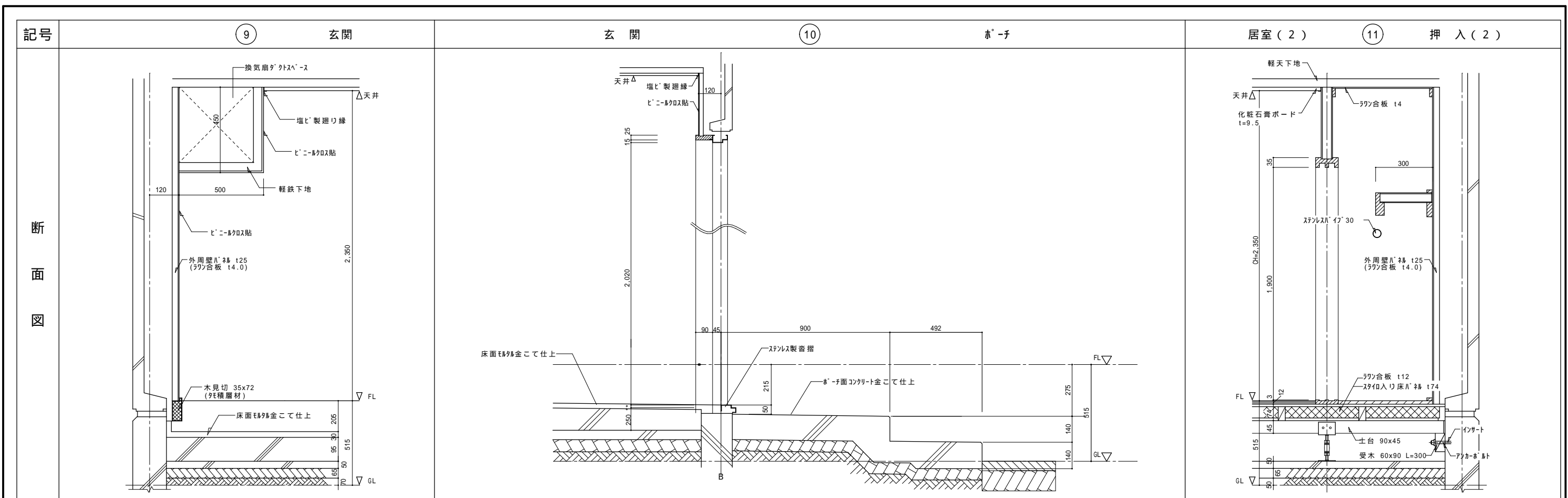
図面名 改修後基礎伏図、断面詳細図、既設基礎詳細図

scale 1/20, 100



可児市役所
建設部施設住宅課

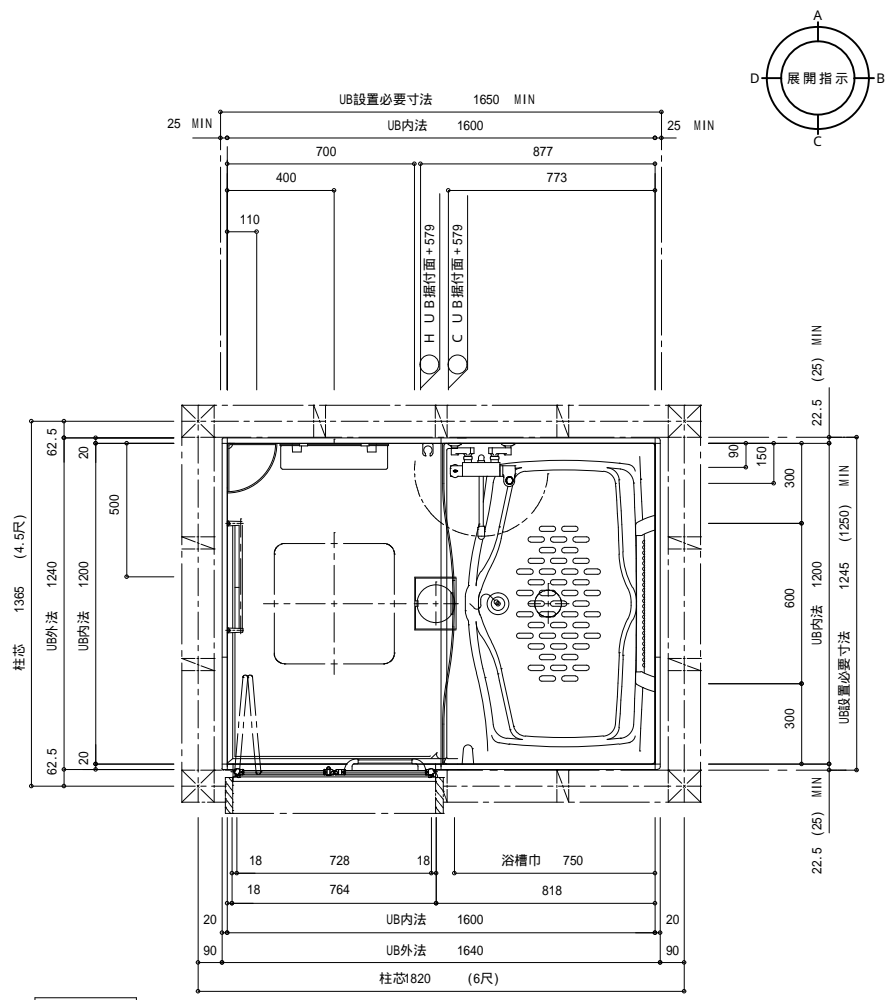
承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市市営東野住宅K棟改修	工事設計図
			建 - 15	図面名	改修後床パネル伏図	scale 1/30



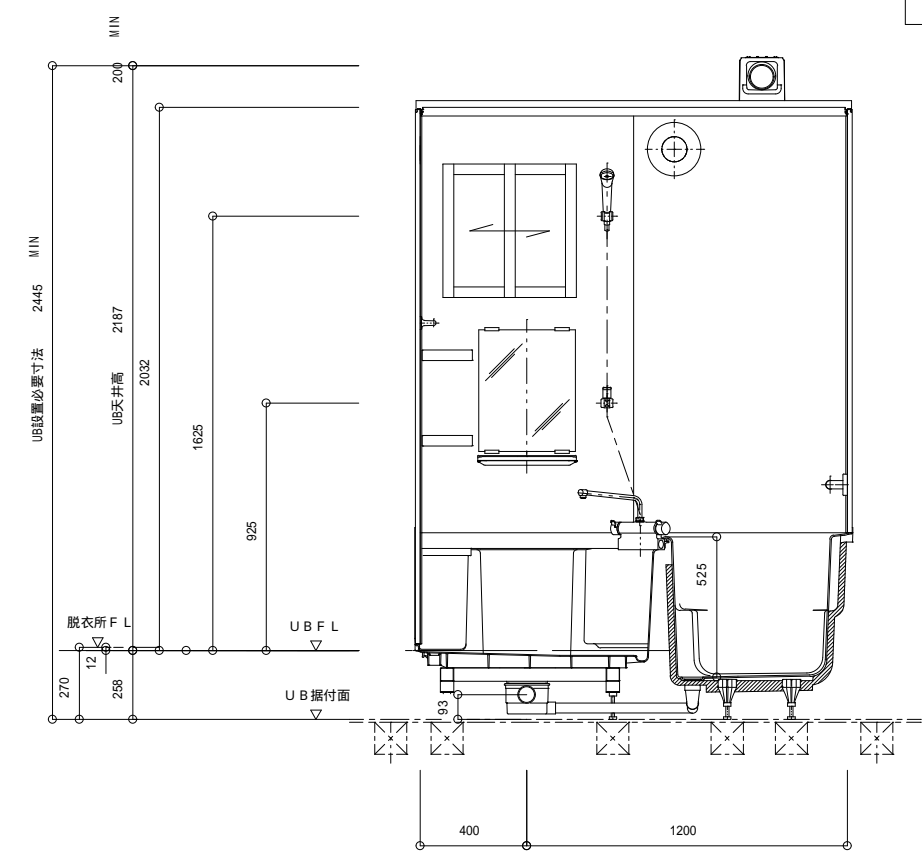
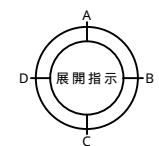
造作材表記

- 米桐材
- 米ヒバ材
- タモ積層材

FL = 設計GL+515
 特記なき限り造作材はOSCL塗りとする(塗装工事)



平面図
* () 寸法は木造・鉄骨構造以外の場合を示す。



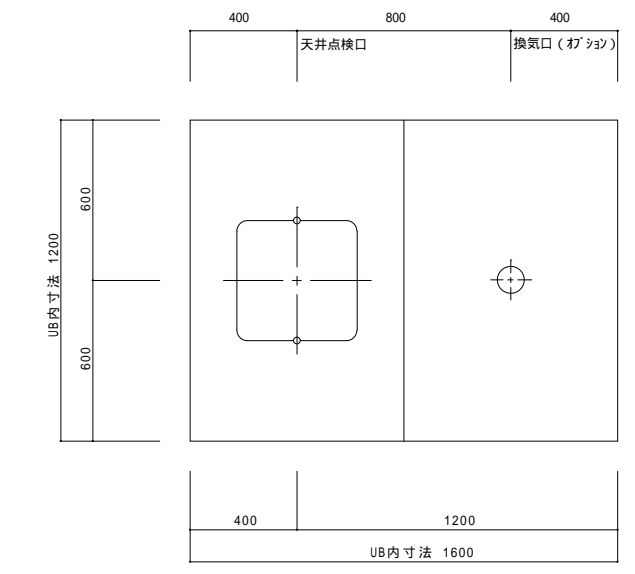
* UB 据付高さ調整範囲 260 - 280 mm
(UB 据付面 - 脱衣所 F L)

展開 : A

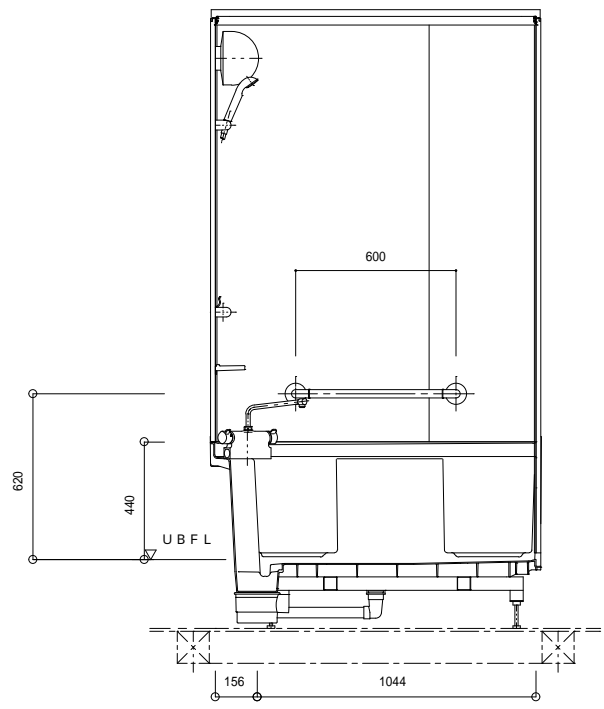
仕様一覧表

部位 / 項目	仕様 (寸法単位 : mm)	部位 / 項目	仕様 (寸法単位 : mm)
据付必要寸法	1250D × 1650W × 2445H	タオル掛	バー : アルミパイプ L400 ブラケット : 樹脂製
内寸法	1200D × 1600W × 2000H	*鏡	防湿化粧鏡 330W × 810H
床	FRP 単色 モザイクパターン	*収納	コーナー棚板3段 樹脂製
壁	Lパネル(マット)	トラップ	ABS樹脂製 封水50mm
天井	化粧鋼板複合パネル	給水管	Rc1/2 アダプター止
ドア	折り戸 : アルミアルマイト処理 面材 : 型板調樹脂板	給湯管	Rc1/2 アダプター止
*浴槽	FRP スタンダード浴槽 (浴槽内法 1082W × 660D × 500H) ゴム排水栓 風呂蓋 (巻蓋) ・風呂蓋フック付	雑排水管	塩ビ管 VP50
*水栓金具	洗い場側 : 壁付サーモ水栓 シャワー : スプレーシャワー	*追いだし	浴槽穴加工 (50)
*カウンター	アクリル化粧棚	*窓	フリーサイズ窓額縁キット 窓開口補強セット
照明	防湿型100V60W白熱灯 1灯 VVFケーブル2芯1.5m付	*握りバー	I型(ホワイト)L600 1本 I型(ホワイト)L800 1本

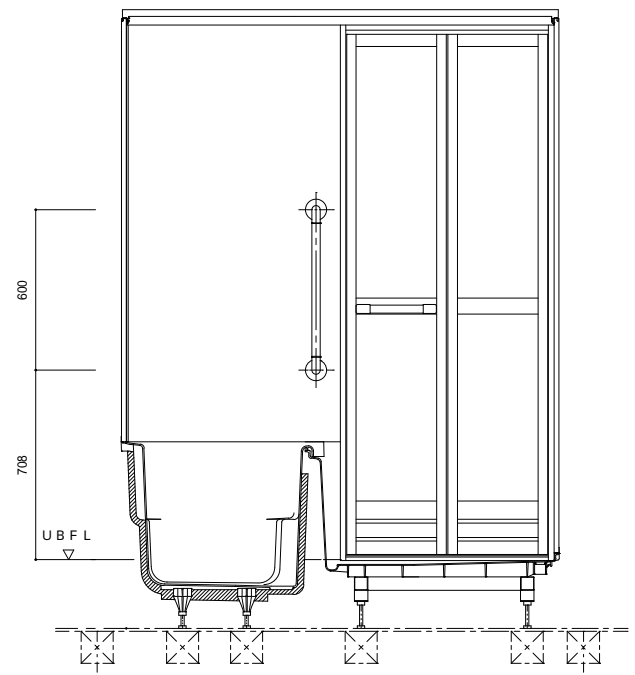
参考図



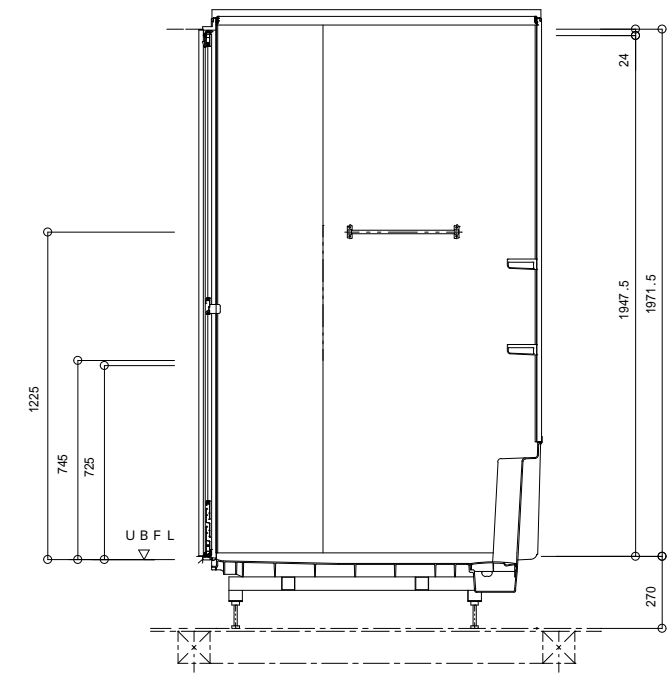
天井伏図



展開 : B



展開 : C



展開 : D



可児市役所
建設部施設住宅課

承認

設計

設計年月日

NO.

工事名 可児市市営東野住宅 K 棟改修

工事設計図

建 - 18

図面名 ユニットバス詳細図 1

scale 1/30

電気設備工事 特記仕様書

工事概要

工事名称 市営東野住宅K棟改修工事
 工事場所 岐阜県可児市川合地内
 構造規模 PCパネル造 延べ床面積 157.80㎡

電気設備工事

工事項目

印又 印は本工事に摘要するものとする。

- | | |
|--------------|----------------|
| ○ 電力引込設備工事 | ○ 呼び出しチャイム設備工事 |
| ・ 受変電 " | ○ テレビ共聴 " |
| ○ 幹線、引込 " | ・ I T V " |
| ○ 電灯、コンセント " | ○ 住宅用火災警報器 " |
| ○ 照明器具 " | ○ 換気扇 " |
| ○ 電話配管・配線 " | ・ 屋外電気 " |
| ・ 放送 " | ・ 防火戸 " |

施工基準

本工事は上記工事項目を別図のように施工するもので、施工図及び仕様書に記載なき事項は国土交通大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)・電気設備工事標準図・電気設備工事技術基準電力会社内線規程・消防法・建築基準法・その他関係法令に基づき完全に施工する事。

疑義

工事契約前に質疑回答書をもって確認する事。図面と仕様書が相違する場合、明記の無い場合、又は疑義の生じた場合は監督員の指示により施工の事。

申請手続

諸官庁及び電力会社等への申請手続は全て請負者が代行し、その費用は全額請負者の負担とする。

工事変更

本設計図に明記が無くても外観、構造及び技術上、当然必要と認められる工事は請負金額の範囲内に於いて監督員の指示に従い施工する事。

現場代理人の選出

本工事期間中は必ず専門技術者を現場代理人として工事監督者の任に当たること。

提出書類

工事範囲

	建築	電気	衛生	空調	別途
1. 電気引込み工事負担金					
2. 電話配管及び配線					
3. テレビ受信障害補償金					
4. 受電後、引渡し迄の基本料金					
5. " 使用電力料金					
6. 電動機とその据付工事					
7. 温、湿度調整関係の自動制御配管					
8. 電極棒その据付工事					
9. エレベーター用電源開閉器及び負荷側の一切の工事					
10. エレベーターの非常用インターホンの配管工事					
11. 換気扇とその取付工事					
12. 天井埋込照明器具の穴明け補強工事					
13. 工事に関する申請業務の必要経費					
14. 工事に関する試験、検査等の必要経費					
15. 工事に必要なスリーブ及び点検口					
16. 工事に必要なBC, SBC染スリーブ及び補強					
17. 設備機器電源端子接続迄					

配管配線

一般事項

- 特記なき配線は600Vビニール絶縁電線とする。
- 入線は標準の色分け配線とする。
- 電線相互の接続は圧着端子を使用する。
- 管の埋込み、又は貫通は監督員の指示に従い建造物の構造及び強度に支障のないように行う。
- 湿度の多い場所に施設する配管は防湿工事を施す。
- ボックス廻りの配管はボンドをとる。
- 空配管にはビニール被覆鉄線(心線径1.6mm)を入れる。

1. 引込

- 電圧、引込方式
 - 低圧 ・ 高圧
 - 架空 ・ 地中 ・ 架空及び地中
- 引込柱
 - 電力会社より直接引込 ・ 本工事に構内引込柱建柱
- 電力引込負担金
 - 本工事 ・ 別途

2. 電力方式

- 高圧 ・ 3 3 W ・ 6 . 6 K V
- 動力幹線 ・ 3 3 W ・ 2 1 0 V
- 電灯幹線 ○ 1 3 W ○ 2 1 0 / 1 0 5 V
- 電灯回路 ○ 1 3 W ・ 2 0 0 V ○ 1 0 0 V

3. 受変電設備工事

- 構造
 - ・ 屋内開放型 ・ 屋内キュービクル型
 - ・ 屋内閉鎖型 ・ 屋外キュービクル型
- コンクリート基礎は本工事とする。

4. 幹線、引込設備工事

- 配線方式
 - ・ CD管 ・ 金属ダクト ○ ケーブル ・ 金属管 ○ P F 管
 - H I V E 管 ・ F E P 管
- 電線ケーブル
 - ・ IV ・ V V - F ○ C V T

5. 電灯、配電設備工事

- 配電方式
 - ・ 金属管 ○ 硬質ビニール管 ・ フロアダクト ・ P F 管 ・ 金属線
 - ・ C D
- 電線ケーブル
 - E M - I E ○ E M - E E F ・ C V ○ C V T
- 分電盤 (3 P 3 0 A リミッター付)
- 配線器具

6. 照明器具設備工事

- ダウンライト、流し元灯
- 非常照明 なし

7. 電話配管設備工事

- 配管路
 - ・ 金属管 ・ フロアダクト () W A Y ・ C D 管
 - P F 管
- 端子盤
 - 端子取付用木板は18mm以上とする。
- 接
 - 接地は交換機用及び保安機用の一切を施工するものとする。

8. 放送設備工事

- 各系統の放送機器の構成
- 図示なくても増幅器その他機器に接地工事を行う。

9. 呼び出しチャイム設備工事

- 設備系統 ○ 親子式 ・ 相互式 ・

10. テレビ共聴設備工事

- 各端子TVセットにおける電界強度は70db以上とする。
- 屋外工事は、既設共同アンテナからI棟までの架空配線を施工する。
- 受信電波について、電界強度試験を実施すること。

11. I T V 設備工事

防犯、業務その他管理運用のために設置するI T V 設備とし、テレビカメラ、制御盤、受像機の取付け及び配管配線を施工する。

12. 住宅用火災警報器設備工事

消防法、同施行令、同施工基準ならびに火災予防条例に従い施工するものとする。既設住宅に取り付けてある警報器を外し、改修後再取付を行うものとする。

13. 避雷針設備工事

J I S A - 4 2 1 0 による。その他は下記による。接地極鋼板のみにて基礎の抵抗値が得られない場合は補助接地を行い基礎の抵抗値を得るよう施工のこと。

14. 屋外電気設備工事

- 外灯
 - ・ 屋外幹線 ・ 屋外弱電
- 管
 - ・ ドラフ ・ H I V E 管 ・ F E P 管
 - ・ 硬質塩化ビニール管

15. 防火戸設備

16. 電話交換機設備

17. 電気時計設備

18. 表示器設備

19. 換気設備

キッチン換気扇設置部の外壁PCパネル開口は建築工事とする。換気方式は第三種換気方式とする。ダクトの種類はスパイラルダクトとする。



可児市役所
建設部施設住宅課

承認

設計

設計年月日

NO.

電 - 1

工事名 可児市市営東野住宅K棟改修

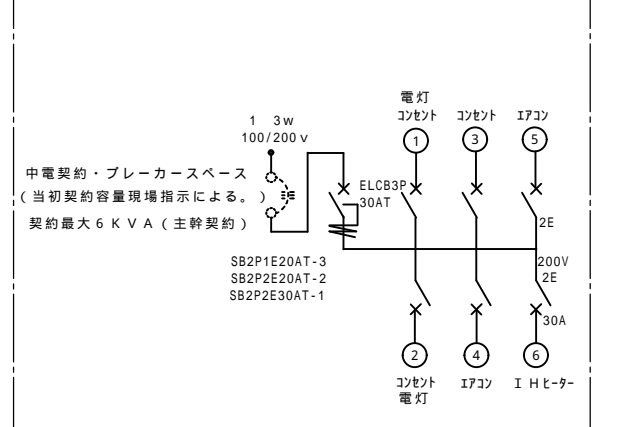
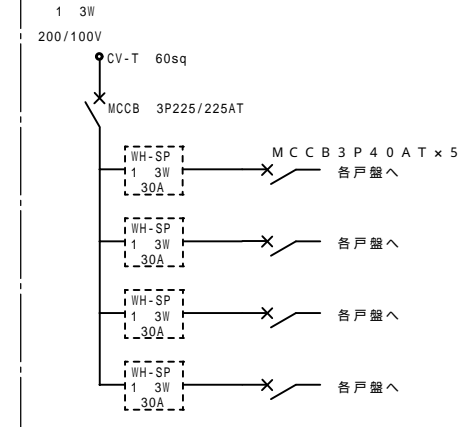
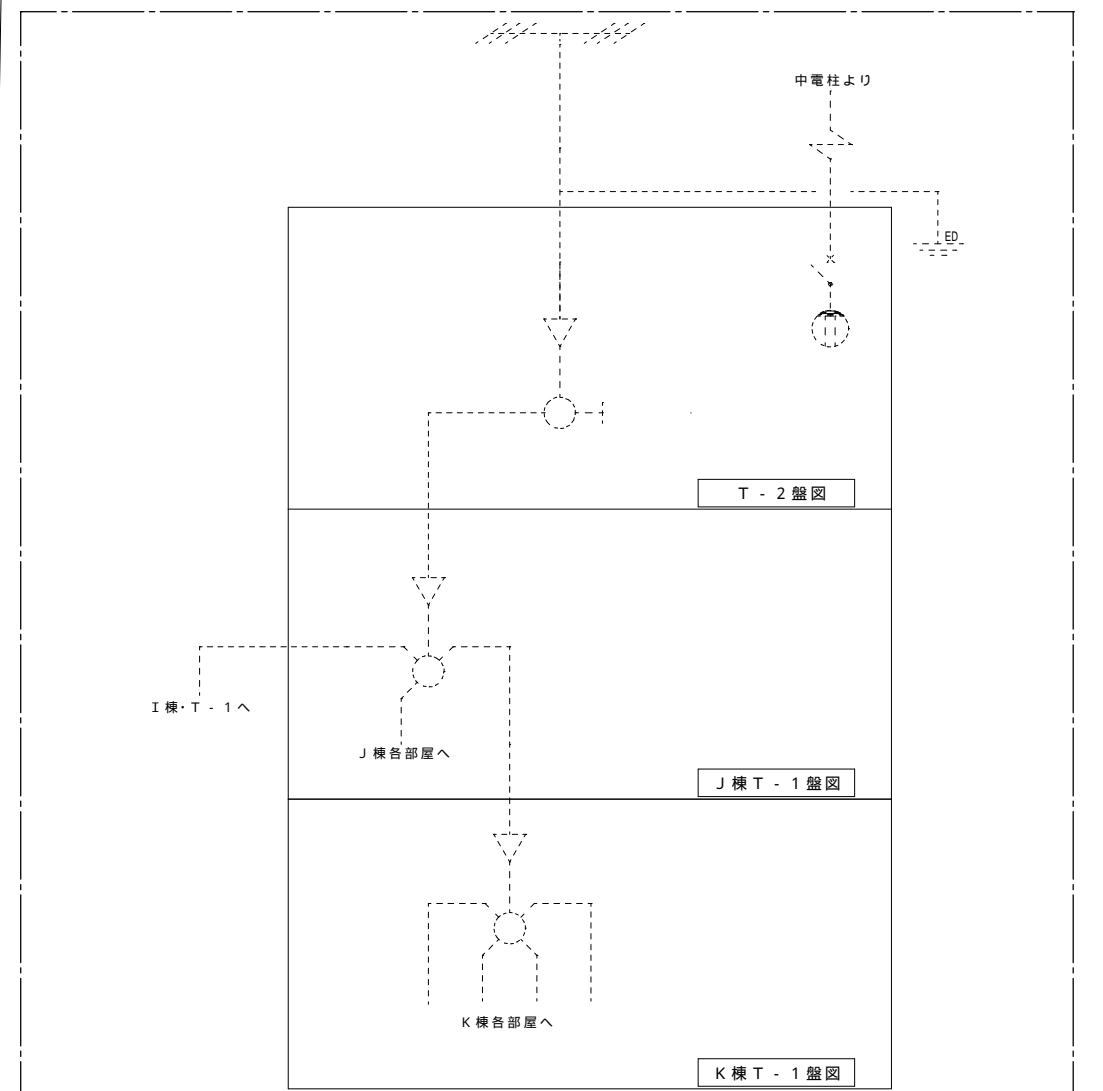
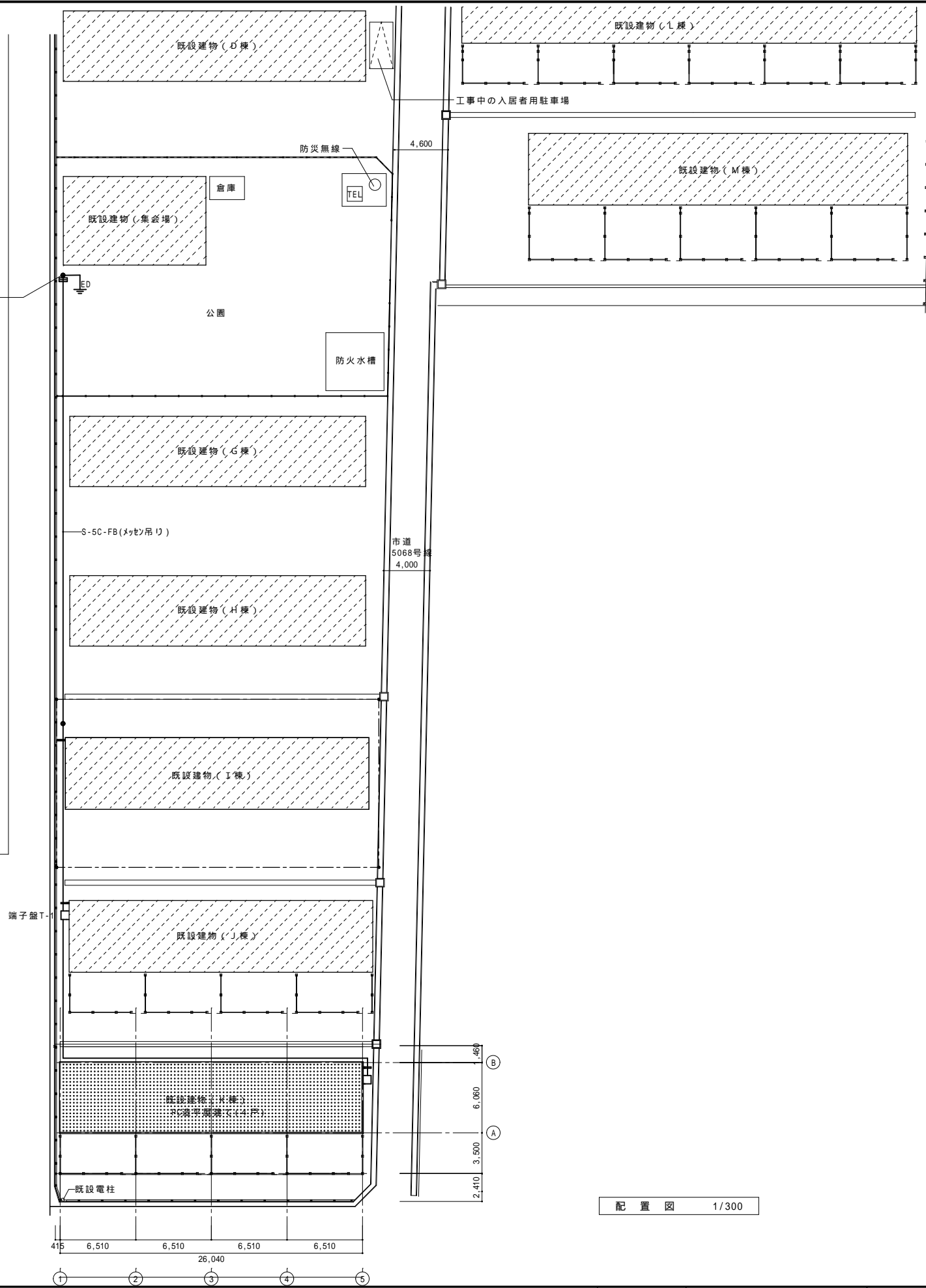
工事設計図

図面名 電気設備特記仕様書

scale 1/



既設アンテナポール
及び既設収納箱T-2



L M 屋外壁掛
ステンレス製防水形
(WHM)検針ガラス窓付

L-1 樹脂製函体

TEL	集合保安器スペース
TV	4分配器、増幅器35dB

T-1 屋外壁掛
ステンレス製防水形

盤図



可児市役所
建設部施設住宅課

承認 設計 設計年月日

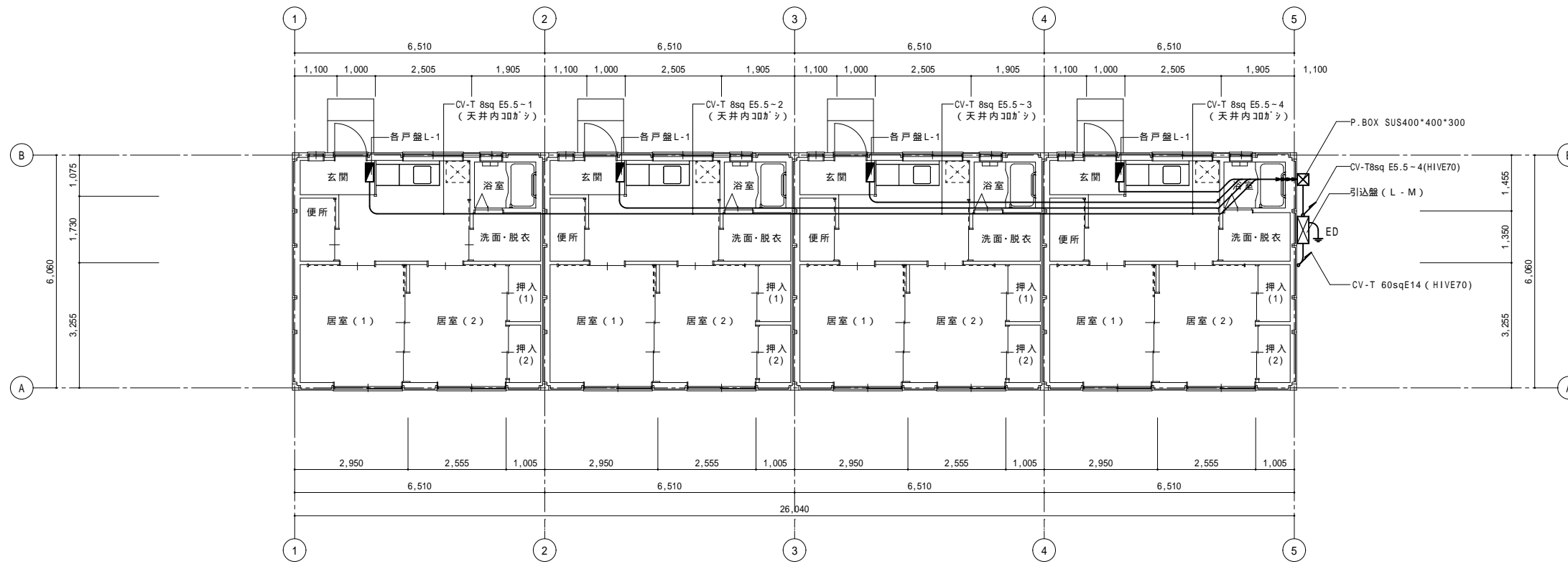
NO.
電-2

工事名 可児市市営東野住宅K棟改修

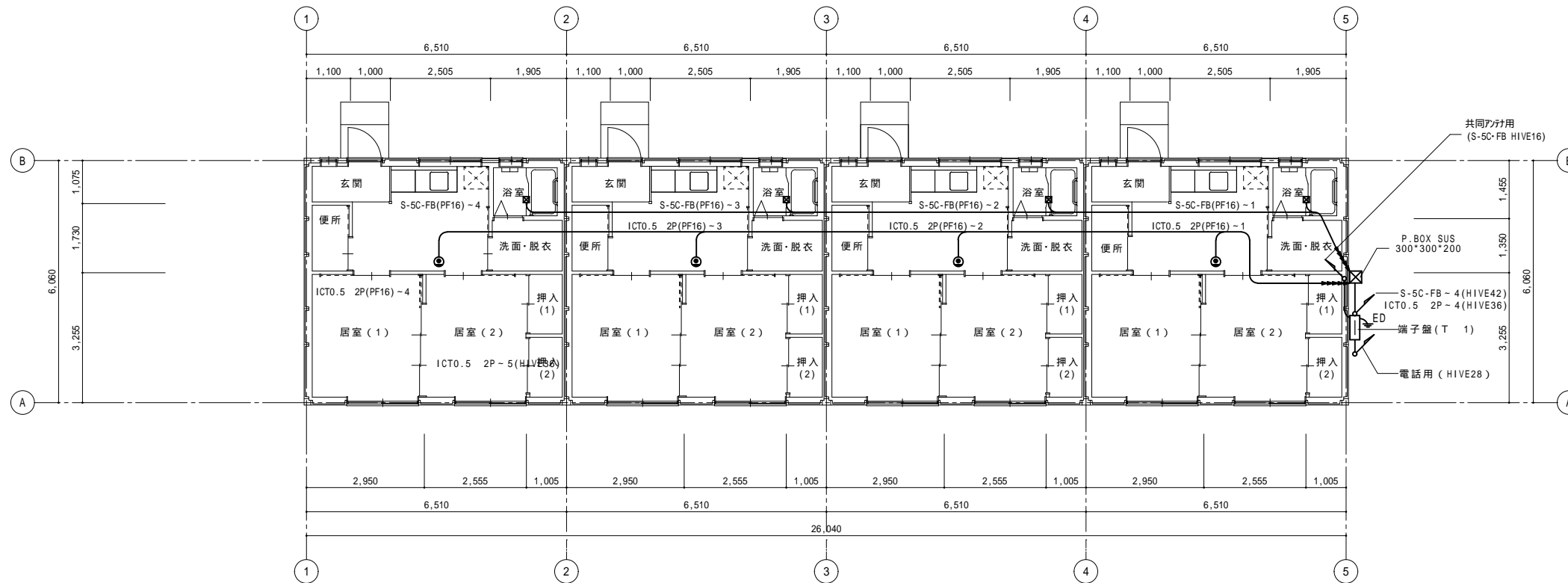
図面名 屋外TV共聴設備配置図

工事設計図

scale 1/300



電灯幹線平面図 1/100



弱電幹線平面図 1/100



可児市役所
建設部施設住宅課

承認

設計

設計年月日

NO.

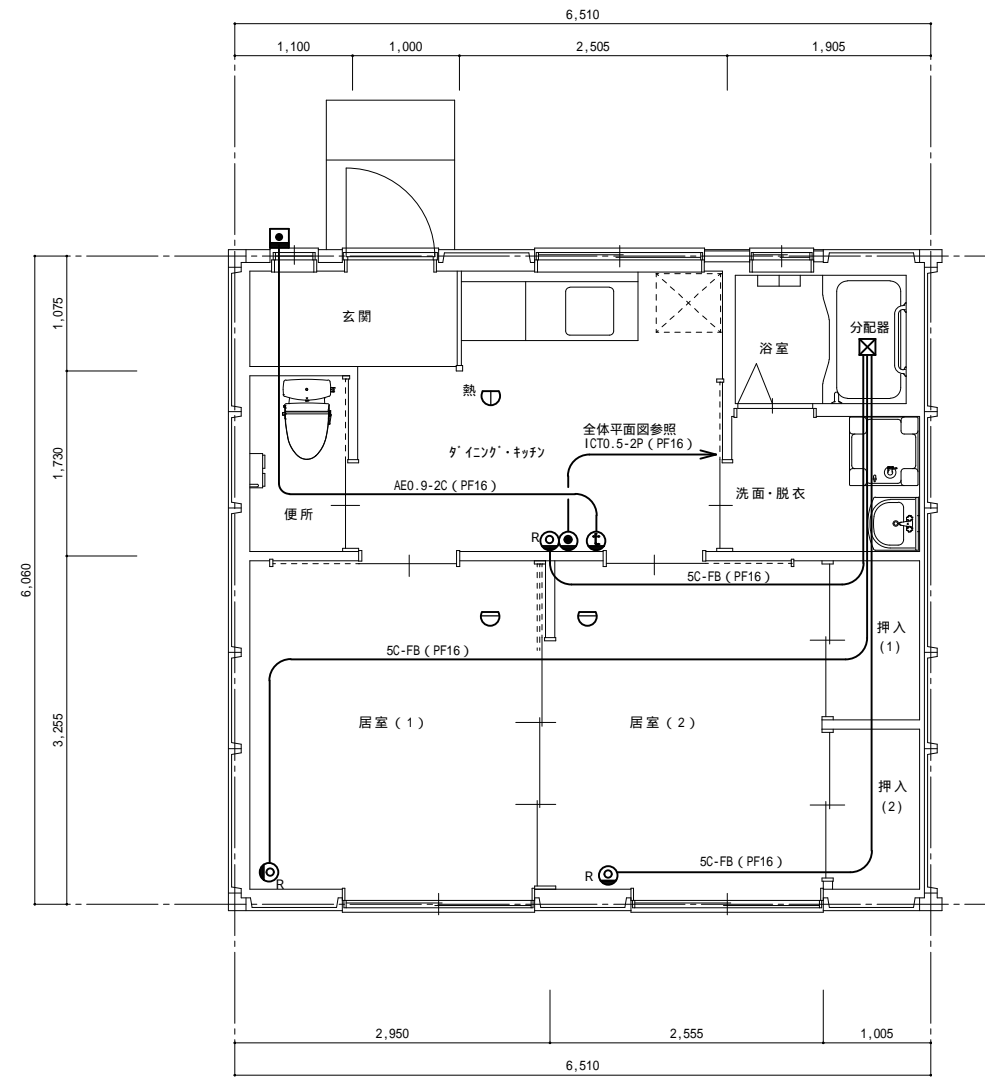
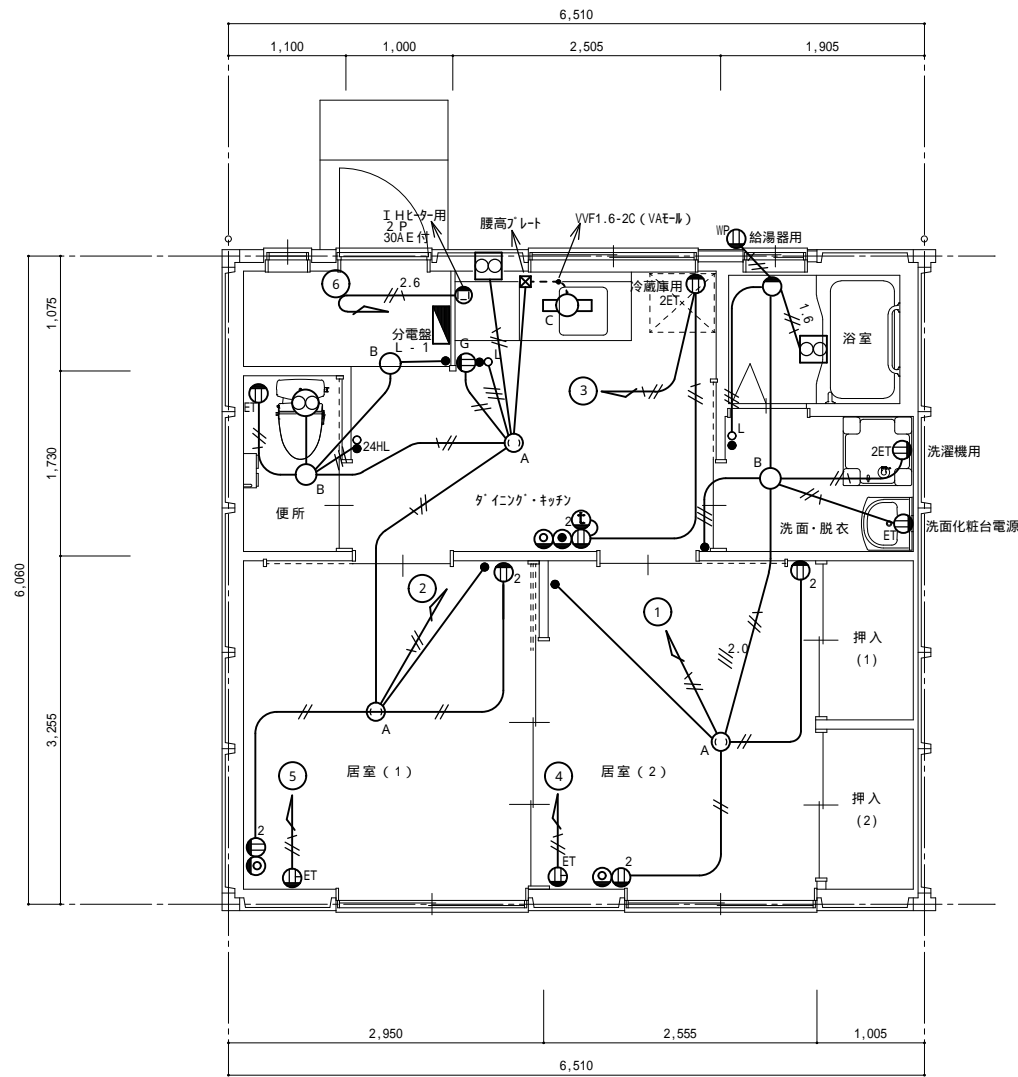
工事名 可児市市営東野住宅 K 棟改修

工事設計図

電 - 3

図面名 幹線設備平面図

scale 1/100



記入なき配管配線は下記による。

- VVF1.6-2C(PF16)
- VVF1.6-3C(PF16)
- VVF2.0-2C(PF16)
- VVF2.0-3C(PF22)
- VVF2.0-3C(PF22) 1C7-ス
- VVF1.6-3C(PF16) 1C7-ス
- VVF2.6-2C E1.6(PF22)

天井内はスナップ止め・コロガシ配線とする
 A' 扉間仕切壁内PF配管及び電気BOXはA' 補工事とする
 外周A' 扉壁電気BOXはA' 補工事とする

凡 例

- スイッチ
- ⊖ 2 コンセント 2P15Ax2
- ⊖ 2ET 冷蔵庫・洗濯機用 2P15Ax2ET
- ⊖ ET エアコン用 2P15/20A・ET
- ⊖ ET トイレ用 2P15A・ET
- ⊖ 2P30A付 IHヒータ用 小型接地 2P30A(200V用)
(アースは金属製がアース付とする。)

A	B	C
引掛埋込口・セットコンセント付	LED8W×1 トイレ・玄関洗面 ダウンライト白熱灯60W相当品	FL20W×1 台所流し元灯
● 大型ホルタルスイッチ 片切	● 大型スイッチ 片切(射灯)+片切(A' 40ト)	ハカニガ電工 HW2857CEP 同等品
	● 24HL 大型スイッチ 片切(射灯)+片切(A' 40ト) 24H換気扇用	

凡 例

- ⊖ R 互列1コト
- ⊖ 分配器 (WCS5693同等品)
- ⊖ TELEシタージャック6極2芯
- ⊖ 呼出しチャイム (EB721同等品)
- ⊖ チャイム用押しボタン (EG331同等品)
- ⊖ 住宅用火災警報器・煙感知式 (既設警報器取外し・再取付)
- ⊖ 住宅用火災警報器・熱感知式 (既設警報器取外し・再取付)

天井内は、スナップ止め・コロガシ配線とする

住戸電灯・コンセント設備図

住戸弱電設備図



可児市役所
建設部施設住宅課

承認

設計

設計年月日

NO.

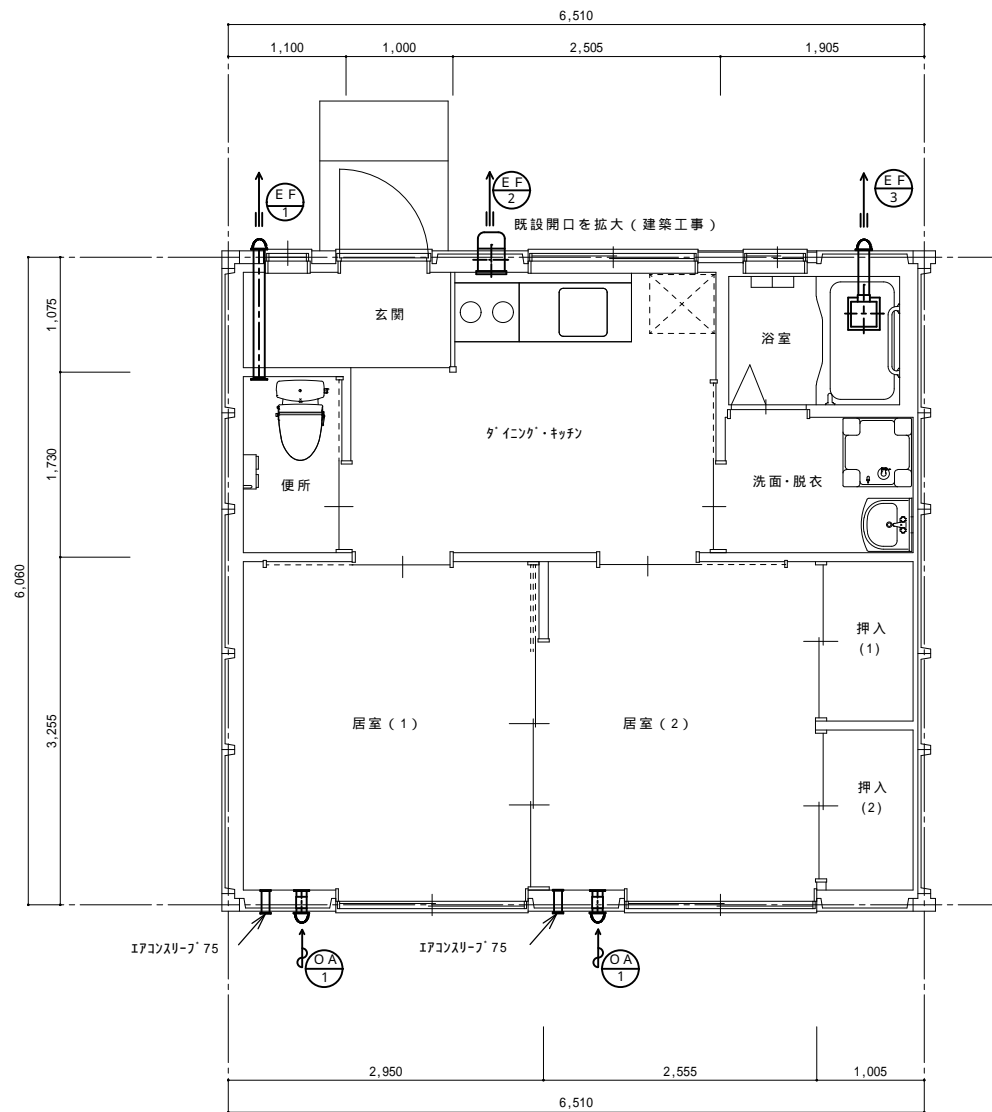
工事名 可児市市営東野住宅K棟改修

工事設計図

電 - 4

図面名 電灯・コンセント、弱電設備図

scale 1/50



換気機器表				
記号	名称	参考品番	仕様・附属品	数量
EF-1	トイレ	FY-08PF8D	フード (FY-MFA043同等品)	1
EF-2	キッチン	FY-20EM5	フード (FY-HDA20同等品) 木枠共	1
EF-3	浴室	FY-17C7	フード (FY-MFX043同等品)	1
OA-1	居室	FY-GKF45L-W	フード (FY-MFX043同等品)	2

住戸換気扇設備図



可児市役所
建設部施設住宅課

承認

設計

設計年月日

NO.

工事名 可児市市営東野住宅K棟改修

工事設計図

電 - 5

図面名 換気扇設備図、盤図

scale 1/50

機械設備工事 特記仕様書

工事概要

工事名称 市営東野住宅K棟改修工事
 工事場所 岐阜県可児市川合地内
 工事規模 PCパネル造 延べ床面積 157.80㎡

工事仕様

施工基準

本工事施工に際しては、本仕様書、施工図並びに国土交通大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事標準仕様書・機械設備工事標準図（最新版）・消防法・建築基準法・その他関係法令に基づき完全に施工する事。

定義

工事契約前に質疑応答書をもって確認する事。図面と仕様書が相違する場合、明記の無い場合、又は定義の生じた場合は監督員の指示により施工の事。

申請手続

諸官庁等への申請手続は全て請負者が代行し、その費用は全額請負者の負担とする。

工事変更

本設計図に明記が無くても外觀、構造及び技術上、当然必要と認められる工事は請負金額の範囲内に於いて監督員の指示に従い施工する事。

現場代理人の選出

本工事期間中は必ず専門技術者を現場代理人として工事監督者の任に当たること。

提出書類

監督員が指定するものを提出すること。

給排水工事の施工業者について

給水工事においては、可児市指定給水装置工事事業者により、下水道工事については、可児市排水設備指定工事店により施工をおこなうこと。

別途工事

ガス設備工事は別途工事であるが、ガス施工業者と工程について協議の上、施工をすること。

給排水衛生設備工事

工事項目

・印又は 印は本工事に適用するものとする。

- 給水設備工事 ・し尿浄化槽設備工事 ・焼却炉設備工事
- 排水通気設備工事 ・消火設備工事 ・ろ過設備工事
- 給湯設備工事 ・ガス設備工事 ・油配管設備工事
- 衛生器具設備工事 ・仮設設備工事 ・融雪設備工事

1. 給水設備工事

1. 各給水器具から、量水器設置、既設引込み仕切弁接続まで。
2. 重力方式は受水槽及揚水ポンプ、高架水槽を経て各給水栓まで。
3. 量水器 市貸与品 13 mm 6個
副量水器 本工事 mm 個
4. 計量方式 ○一括方式 ・分割方式
5. 受水槽 $V = \text{m}^3$ 寸法 x x mH
6. 高架水槽 $V = \text{m}^3$ 寸法 x x mH
架台 = cm mH
7. 揚水ポンプ mm x L/min x m x kW
台 相 V
・基礎 ・本工事 ・別途（建築工事）

8. 水圧試験

直圧部及びポンプアップ部（1Mpa・10分以上）

9. 配管材料

- ・JWWAK-1116 (SGP) VB
- ・JWWAK-1118 (耐衝撃HIVP) 屋外埋設
- ・JWWAK-132 (PD) 埋設 ○水道用ポリエチレン二層管 屋外埋設
- JISK6778 (ポリブテン管) ・JWWAK-132 (PB)

引込み配管（ポリエチレン管）からの分岐部にはサドル付分水栓を設置すること
 引込み配管（ポリエチレン管）の先端にはドレンを設置すること

10. 弁類

- 一次側JIS10K GV (コアー付き) 65A以上 GV JIS10K (ライニング)
- ・二次側JIS5K GV (コアー付き) 65A以上 GV JIS10K (ライニング)
- ・一次側JIS10K GV (仮設)

11. 備考

埋設深さ ・300 ・450 ○600 ・750

2. 排水、通気設備工事

1. 排水方式 ・分流式 ○合流式
2. 放流先 ○下水本管 ・一般排水路
3. 工事限界 各排水器具より汚水枳・宅内最終枳接続まで（最終枳以降は別途）
4. 配管材料 ・JISK-6741 (VP) ・WSP-032 (TA)
・HASS-203 (排水用LP) ・JISA-5303 (HP)
・JISG-3452 (SGP) (白) ・JISG-5525 (CIP)
・石綿二層管 (汚水) ・WSP-042 (VA)
・JISK-6776 (HT) (埋設)
○JISK-6741 (VU)
5. 汚水枳 塩ビ製小口径枳 100-150 (塩ビ蓋共)
6. 雨水枳 塩ビ製小口径枳 300 (塩ビ蓋共)
7. 別途工事 宅内最終枳から下水道本管接続工事は、別途工事とする。

3. 給湯設備工事

1. ボイラ ・立型 1m²/h 燃料 灯油焚き 台
・壁掛
2. 工事限界 各給湯器具から給湯水栓まで。
3. 配管材料 ・JISH-3300 (被覆銅管Lタイプ)
・JISG-3448 (SUS管)
○JISK6778 (ポリブテン管)
4. 弁類 ・50A以下 JIS10K GV
・65A以上 JIS10K GV (SUS製)
5. 給湯器 ガス給湯器 16号 (追焚き付壁掛形)

4. 衛生器具設備工事

1. 洗浄方式 大便器 ○ロータンク方式 ・フラッシュ弁方式 ・センサ方式
小便器 ・押ボタンフラッシュ方式 ・センサ方式
2. 工事限界 衛生器具及び付属品の取付けまで。尚軽量型の場合は予じめ補強材を挿入して取付けること。

5. し尿浄化槽設備工事

1. 単独式 1)分離接触バッキ式 製 人槽
2)合併処理槽 V = m³/日
2. 放流方式 3)自然放流
4)ポンプアップ式 mm x L/min x m x kW
台 相 V
3. 放流水 ・BOD (PPM) ・SS (PPM)
4. 放流先 ・一般排水路
5. 工事限界 本体及び内部1式（ブロー、空気配管も含む）尚、電気工事は区分は操作盤への電源接続までを1次側（電気工事）として以降は本工事とする。

6. 消火設備工事

1. (・屋内 ・屋外) 消火栓
2. スプリンクラー
3. 泡消火 ・型式 ・固定 ・移動
4. 配管材料 ・JISG-3452 (GP) ・SGP-VS

7. ガス設備工事

1. 供給方式 ・都市ガス直結（供給会社の責任施工）
・プロパンガス（配管径は都市ガスサイズ）
2. 工事限界 配管及び器具の取付調整まで。
3. 配管材料 ・JISG-3452 (GP) ・被覆銅管
都市ガスの場合は供給会社の認定品。尚ガスコックは全てコンセント型とし過流出防止装置付きとする。（湯沸器用は可とう管コック）
4. 厨房設備工事
5. 焼却炉設備工事

8. ろ過設備工事

1. 材料 ・JISK-6776 (HT) ・JWWAK-118 (HI)
・JISK-6741 (VP) ・JISG-3452 (白)

9. 油管設備工事

1. 材料 ・JISG-3452 (黒)

10. 融雪設備工事

1. 方式 源水槽より動力式とする。
2. 配管材料 ・JISK-6776 (HT)

11. 保温工事

保温の施工、種別、保温材の厚さは標準仕様書第3章2.3.5.~2.3.7表を適用する。

器具表

器具名	品番	数量
洋風便器（普通便座・節水形）	BC-110STU DT-580BL CF-47AT 同等品 : INAX	4
欄付手摺（紙巻付）	NKF-3W 同等品 : INAX	4
洗面化粧台（W500）	FTVN-500 同等品 : INAX	4
ミラーキャビネット	MFK-501 同等品 : INAX	4
洗濯パン（水栓付）	426-501 同等品 : カクイ	4
洗濯用模引き排水トラップ	426-144 同等品 : カクイ	4
混合水栓（流し台用）	SF-HE430S 同等品 : INAX	4
流し台（L=1050）	S-105S 同等品 : 藤栄	4
コンロ台（L=600）	S-60GB(ﾊﾞｯｶﾞｰﾄﾞ付) 同等品 : 藤栄	4
吊戸棚（L=1050）	S-105A 同等品 : 藤栄	4
水切棚（2段）	SK900-2N 同等品 : 藤栄	4
キッチンフード（L=600）	V-603 同等品 : 藤栄	4
ガス給湯器16号（追焚き付壁掛形）	GT-1650SAWX 同等品 : ノーリツ	4
同上マルチリモコン	RC-9101 同等品 : ノーリツ	4
同上配管カバー	H32K 同等品 : ノーリツ	4



可児市役所
建設部施設住宅課

承認

設計

設計年月日

NO.

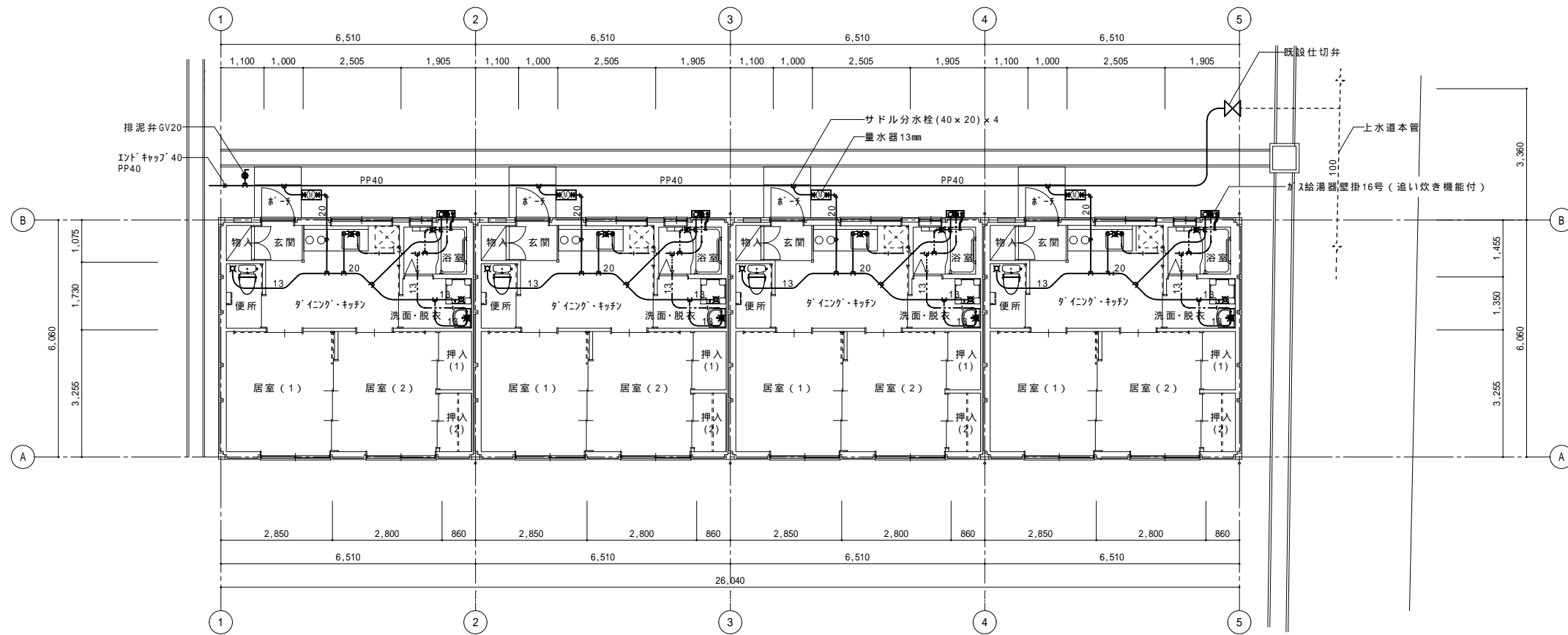
機 - 1

工事名 可児市市営東野住宅K棟改修

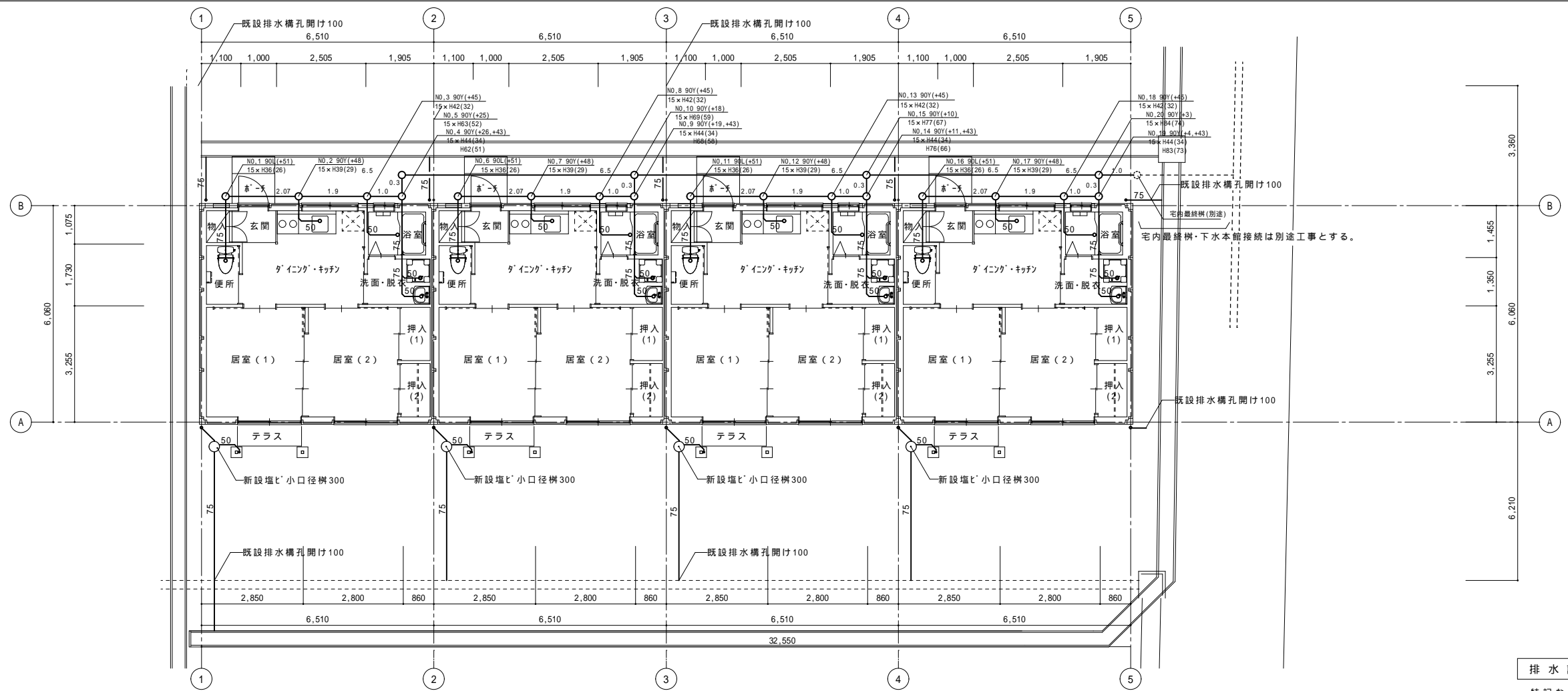
工事設計図

図面名 機械設備特記仕様書

scale 1/



給水・給湯設備図 1/100



排水設備図 1/100

特記なき配管は、100 とする



可児市役所
建設部施設住宅課

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市市営東野住宅K棟改修	工事設計図
			機 - 2	図面名	給排水設備図	scale 1/100